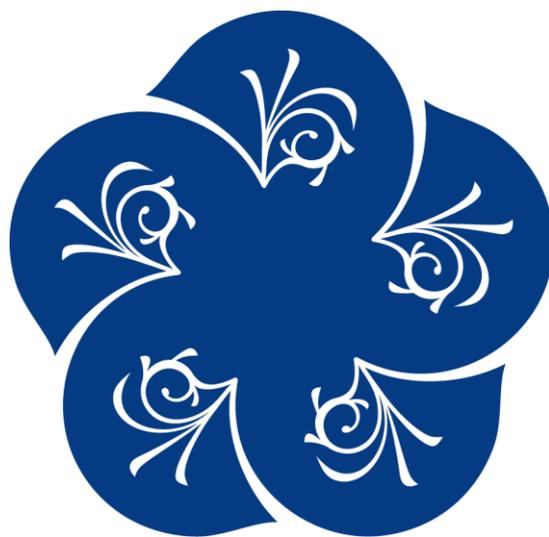


令和6年度【令和5年度事業】

砥部町教育委員会点検評価報告書



四 国 砥 部
えひめ TOBE

令和6年9月

砥部町教育委員会

I 砥部町教育大綱

誇りある地域、そして住み続けたいと思う魅力的なまちづくりを進めるためには、人づくりが大切です。本町に暮らす住民が、まちの現在と未来を担う大切な「力」であり、教育はその「力」を育む最も重要な営みです。

砥部町では、「まちづくり」は「人づくり」であるという理念に基づき、本町に暮らす住民一人ひとりが様々な学習や活動、交流を通じてお互いの基本的人権を尊重し、互いに学び合い高め合うまちを目指し、令和5年度から5年間の教育行政の方向を示す『第3次砥部町教育大綱』を策定しています。

大綱では、分野別に目標を設定し、目標実現に向けた政策方針、主要施策を次のとおり定め、学校・家庭・地域の連携体制を構築し、地域の文化や歴史、施設、人材など、地域の資源を最大限に活用した、生涯にわたり学び続けることのできる学習環境の整備を進めます。



子ども・教育分野



目標 1.未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します。

■政策1 子育て支援の充実

子どもの健やかな成長を第一に考え、子育て支援事業の実施により、多様なニーズに対応できる保育サービスの充実を図り、子どもを産み育てやすい環境を整備します。

■政策2 学校教育の充実

子どもたちが自らの力で未来へはばたくことができるよう、豊かな人間性や確かな学力、健やかな体などを育む教育を進めます。

主要施策

- ① 子育て支援サービス等の充実
- ② 多様化するニーズへの対応と子育て負担の軽減
- ③ 子どもの居場所づくり及び仕事・子育てを両立できる環境の整備
- ④ 豊かな心を育む教育の推進
- ⑤ たくましく生きる子どもの育成
- ⑥ 教育力の向上
- ⑦ 教育環境の整備



目標 2.身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。

■政策1 青少年の健全育成

青少年育成センター補導委員を中心として、生徒指導や非行防止のための活動を推進し、地域における青少年の安全確保に努めます。

また、次代を担う自立した青少年の健全育成を推進するため、青少年に本町の豊かな自然を活用した体験活動の機会を提供するとともに、高校生や大学生等の青少年ボランティアリーダーと協働して青少年の健全育成に取り組みます。

■政策2 生涯学習環境の整備

自己啓発をしようとする意識の高まりに応じて、生涯にわたって学び続けることができる学習環境の整備を推進します。

■政策3 人権尊重・男女共同参画の推進

住民一人ひとりの人権が尊重され、差別のない誰もが暮らしやすい社会を実現するため、お互いの人権を尊重し、様々な人が地域で活躍できる地域づくりを目指します。

主要施策

- ① 青少年の健全育成
- ② 国際交流の推進
- ③ ニーズに合わせた学習機会の充実
- ④ 多様な学習情報の発信とニーズ調査
- ⑤ 社会教育施設の充実
- ⑥ コミュニティ・スクール導入に向けた取組
- ⑦ 人権についての教育・啓発の推進
- ⑧ 人権擁護の推進と相談体制の充実
- ⑨ 男女共同参画の推進



目標 3.文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。

■政策 1 文化活動の推進

住民主体の文化・芸術活動の活発化を一層促進するため、一流指導者の確保や、文化協会をはじめとする各種文化・芸術団体及び地域における指導者の育成を図ります。

■政策 2 文化財の保護と活用

歴史及び文化を次世代に継承するため、伝統芸能や文化の保存、継承及び創造を図るとともに、本町が誇る文化財や歴史を積極的に発信し、文化的交流を推進します。

■政策 3 スポーツ活動の推進

生涯スポーツの振興と競技スポーツの向上など、住民一人ひとりが豊かな人生を送れるよう、スポーツを楽しむ機会の充実を図ります。

主要施策

- ① 文化・芸術活動への参加促進
- ② 文化・芸術活動を通じた交流の推進
- ③ 文化財や地域伝統文化の保護と継承
- ④ 文化財の活用
- ⑤ ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ⑥ 地域における指導者の確保及び育成
- ⑦ 社会体育施設等の充実

II 教育委員会の事務の点検・評価制度の概要

1 趣旨

砥部町教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条の規定に基づき、その権限に属する事務の管理・執行状況について、毎年、点検・評価を行い、報告書を作成しています。

点検・評価の実施により、効果的・効率的な教育行政の推進を図り、変化する社会経済情勢に適確に対応するとともに、職員の意識改革の向上を図ります。

なお、点検・評価の実施にあたり、外部の学識経験者の知見を活用するとともに、報告書を議会に提出、公表することにより、町民への説明責任を果たし、信頼関係を確保することとしています。

《地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）》

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象

令和 5 年度の事務事業を対象とし、大きく次の 2 区分とします。

- (1) 教育委員が直接に関与、及び活動している事業を「教育委員会の活動状況」とします。
- (2) 教育委員会が管理・執行している事務事業及び教育長に委任している事務を「教育委員会における事務の管理・執行状況」とします。

なお、「教育委員会における事務の管理・執行状況」は、令和 5 年度の事務事業を点検・評価したもので、「砥部町教育大綱」に掲げる分類としています。

3 点検・評価の方法

(1) 教育委員会による点検・評価

対象となる事業の実施状況、成果、課題等をまとめ、その妥当性、有効性及び効率性を総合的に判断し、事業の評価及び次年度以降の方向性について、次のとおり自己評価を行いました。

評価	S	目標とする成果を大きく上回った。
	A	目標とする成果をやや上回った。
	B	概ね目標とする成果であった。
	C	目標とする成果をやや下回った。
	D	目標とする成果を大きく下回った。

方向性	拡大	施策上の必要性や住民ニーズにより、さらに拡大・充実を図るもの
	維持	現状どおり事業を継続させることが妥当なもの
	縮小	サービスの供給又は費用が課題となっており、適正化を図るもの
	廃止	施策上の必要性や住民ニーズが減少し、廃止が妥当なもの

(2) 外部有識者による点検・評価

自己評価実施後、その客観性を確保するために、教育に関し学識経験を有する古田章氏（元伊予小学校長）に、主要施策別にご意見をいただきました。

III 教育委員会の活動

1 教育委員会の構成

教育委員会は、人格が温厚誠実で、学校、生涯学習及び文化等の教育に関し識見を有するもののうち、町長が町議会の同意を得て任命した教育長及び4人の教育委員により構成されています。

砥部町教育委員会委員(令和6年3月31日現在)

職名	氏名	任期	期数
教育長	大江 章吾	令和5年2月17日就任 令和8年2月16日満了	2期
委員 (教育長職務代理者)	篠原 弘康	令和4年2月17日就任 令和8年2月16日満了	2期
委員	丸本 正和	令和3年2月17日就任 令和7年2月16日満了	2期
委員	壽野 章子	令和5年2月17日就任 令和9年2月16日満了	1期
委員	佐川 恵子	令和6年2月17日就任 令和10年2月16日満了	1期

2 教育委員会会議の運営状況

教育委員会会議（定例会、臨時会）の令和5年度における運営状況は次のとおりです。

- (1) 開催回数 13回（定例会12回/臨時会1回）
- (2) 議案件数 54件
- (3) 傍聴人 0人（累計）

3 学校・幼稚園訪問

(1) 学校訪問

各学校の教育方針や学校経営の実情をもとに、学校教育推進上の諸問題について話し合い、これからの学校教育の推進を図るため、学校施設の状況視察及び全ての教諭

の授業を参観しました。

【訪問内容】

- ① 教育方針及び学校教育推進に伴う課題・問題（施設の管理・危機管理・サービスなど）について、説明を受け協議しました。
- ② 具体的な教育活動（児童生徒指導の実情と問題点）や特色ある教育活動などについて協議しました。

(2) 幼稚園（こども園）訪問

幼稚園やこども園の運営を協議するため、施設訪問を実施しました。

訪問日	施設名	訪問日	施設名
6月5日	麻生小学校	6月6日	砥部小学校
6月7日	砥部中学校	6月28日	宮内小学校
6月30日	広田小学校	12月22日	幼稚園（こども園）

4 その他の活動状況

開催日	行事名等
4月4日	・新任教職員挨拶会【中央公民館】
4月9日	・山村留学センター入所式
4月11日	・小・中学校入学式
4月12日	・幼稚園・こども園入園式
7月13日	・砥部町小学校水泳記録会【宮内小学校】
10月9日	・砥部中学校運動会
9月24日	・広田小学校運動会
9月30日	・砥部こども園運動会
10月1日	・麻生・宮内幼稚園運動会
10月2日	・伊予地区小学校陸上競技記録会【ニンジニアスタジアム】
10月21日	・砥部地域小学校運動会
11月25日	・第74回全国人権・同和教育研究大会愛媛県内報告会【町文化会館】
11月18、19日	・芸術文化フェスタ
12月9日	・砥部町「人権の町づくり集会」【町文化会館】
1月4日	・砥部町年賀交歓会【中央公民館】
1月7日	・砥部町成人式【町文化会館】
3月12日	・砥部町総合教育会議【役場庁舎】
3月15日	・砥部中学校卒業式

3月22日	・砥部地域小学校卒業式
3月25日	・広田小学校卒業式 ・山村留学センター退所式
3月28日	・教職員離任式【中央公民館】

IV 教育委員会における事務の管理・執行状況

目 次

注1) 評価欄には、各施策別評価の「自己評価」を掲載しています。

施策	No.	評価対象事業名	担当係	評価	方向性	頁
【目標】 未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します。						
【主要施策】 子育て支援サービス等の充実						
	1	幼児教育推進事業	保育幼稚園係	B	拡大	12
【主要施策】 豊かな心を育む教育の推進						
	2	就学援助事業	学校教育係	B	維持	13
	3	奨学資金貸与事業	総務係	B	維持	14
	4	特別支援教育推進事業	学校教育係	B	維持	15
	5	地域の特性を生かす教育推進事業	学校教育係	B	維持	16
	6	学校給食運営事業	学校給食係	B	維持	17
	7	校務支援・業務改善事業	総務係	B	拡大	18
	8	いじめ・不登校等対策事業	学校教育係	B	拡大	19
	9	山村留学センター運営事業	総務係	B	維持	20
【主要施策】 たくましく生きる子どもの育成						
	10	教育活動支援事業	学校教育係	B	維持	21
	11	保健対策事業	学校教育係	B	維持	22
	12	運動・体力向上推進事業	学校教育係	B	維持	23
	13	キャリア教育推進事業	学校教育係	B	維持	24
	14	外国語教育推進事業	総務係・学校教育係	B	拡大	25
	15	部活動地域移行事業	学校教育係	B	維持	26
【主要施策】 教育力の向上						
	16	教職員研修促進事業	総務係	B	維持	27
	17	学力向上推進事業	学校教育係	B	維持	28
	18	情報教育推進事業	学校教育係	B	維持	29
【主要施策】 教育環境の整備						
	19	学校間連携推進事業	総務係	B	維持	30
	20	学校施設整備・維持管理	総務係	B	維持	31
	21	学校安全対策事業	総務係	B	維持	32

施策	No.	評価対象事業名	担当係	評価	方向性	頁
【目標】身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。						
【主要施策】青少年の健全育成						
	22	青少年健全育成事業	社会教育係	B	維持	33
【主要施策】国際交流の推進						
	23	国際交流事業	社会教育係	B	維持	34
【主要施策】ニーズに合わせた学習機会の充実						
	24	公民館活動事業	公民館係	B	維持	35
【主要施策】社会教育施設の充実						
	25	公民館施設管理	公民館係	B	維持	36
	26	読書活動推進事業	社会教育係	B	維持	37
【主要施策】コミュニティ・スクール導入に向けた取組						
	27	コミュニティ・スクール導入事業	社会教育係	B	維持	38
【主要施策】人権についての教育・啓発の推進						
	28	人権教育・人権対策推進事業	社会教育係	B	維持	39
【主要施策】人権擁護の推進と相談体制の充実						
	29	人権擁護推進事業	社会教育係	B	維持	40
【主要施策】男女共同参画の推進						
	30	男女平等教育の推進	社会教育係	B	拡大	41
【目標】文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。						
【主要施策】文化・芸術活動への参加促進						
	31	文化会館管理運営	文化スポーツ係	B	維持	42
【主要施策】文化・芸術活動を通じた交流の推進						
	32	学習発表会	公民館係	B	維持	43
【主要施策】文化財や地域伝統文化の保護と継承						
	33	文化財保護事業	文化スポーツ係	B	維持	44
	34	地域伝統文化保存伝承事業	文化スポーツ係	B	維持	45
【主要施策】文化財の活用						
	35	文化財への理解促進	文化スポーツ係	B	維持	46
	36	坂村真民記念館	文化スポーツ係	B	維持	47
【主要施策】ライフステージに応じたスポーツ活動の推進						
	37	社会体育推進事業	文化スポーツ係	B	維持	48
	38	レクリエーションスポーツ推進事業	文化スポーツ係	B	拡大	49
【主要施策】地域における指導者の確保及び育成						

	39	スポーツ指導者確保及び育成	文化スポーツ係	B	維持	50
【主要施策】社会体育施設等の充実						
	40	社会体育施設管理	文化スポーツ係	B	維持	51

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	子育て支援課	担当係	保育幼稚園係															
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																			
主要施策	子育て支援サービス等の充実																			
事業No.	1	事業名	幼児教育推進事業		決算額	76,125,504円														
事業目的	町立幼稚園において、幼児を保育し、義務教育及びその後の教育の基礎を培い、幼児の健全な成長のために適当な環境を与えてその心身の発達の助長を図る。																			
取組内容及び成果	<p>1 幼稚園の運営</p> <p>家庭や地域と連携しながら、幼児が発達に応じた多様な経験ができるよう、直接体験を重視した活動の充実に向け取り組んだ。</p> <p>(1) 預かり保育</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日数</th> <th>登録人数</th> <th>延べ利用人数</th> <th>1日当たりの利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麻生幼稚園</td> <td>238日</td> <td>17人</td> <td>1,864人</td> <td>7.8人</td> </tr> <tr> <td>宮内幼稚園</td> <td>99日</td> <td>4人</td> <td>122人</td> <td>1.2人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 園での活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 外部講師による体操教室、サーキット運動、ダンス・リズム遊び 七夕、秋祭り、節分、ひな祭りなど季節に合わせた伝統的な行事 <p>(3) 家庭との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏祭り、親子遠足、交通安全教室、食育教室など親子で楽しむ行事の実施 保育参観、祖父母参観、給食参観、特別支援教育周知講習会などの実施 <p>(4) 地域との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼保小やハートピアみなみとの交流活動 ・地域の方の協力による、みかん狩りや芋ほり体験 地域資源を活かした、消防署・給食センターの社会見学や砥部焼作りの体験 						実施日数	登録人数	延べ利用人数	1日当たりの利用人数	麻生幼稚園	238日	17人	1,864人	7.8人	宮内幼稚園	99日	4人	122人	1.2人
		実施日数	登録人数	延べ利用人数	1日当たりの利用人数															
麻生幼稚園	238日	17人	1,864人	7.8人																
宮内幼稚園	99日	4人	122人	1.2人																
自己評価	B	評価理由	<p>様々な行事や活動により幼児の体験を広げるため、保護者参加型の行事や、地域の方の協力により地域資源を活用した行事を企画し、家庭や地域と連携した保育に努めた。また、昨今多発する災害等に備えた防災教育を実施し、防災に対する意識向上を図った。</p>																	
方向性	拡大																			
課題と取組み	幼稚園の統合により、全校区の地域とのつながりを意識し、幼稚園教育と小学校教育の円滑な接続を図る。																			

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係																															
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																																			
主要施策	豊かな心を育む教育の推進																																			
事業No.	2	事業名	就学援助事業		決算額	15,781,516円																														
事業目的	経済的な事由により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費を助成し、負担軽減を図る。																																			
取組内容及び成果	<p>1 要保護・準要保護児童生徒援助事業</p> <p>(1) 支給総額 15,235,105円 (小学校：7,155,029円 中学校：8,080,076円)</p> <p>(2) 対象者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校区分</th> <th>年度</th> <th>全児童等数</th> <th>要保護</th> <th>準要保護</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">小学校</td> <td>5年度</td> <td>1,022人</td> <td>7人</td> <td>123人</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>1,039人</td> <td>5人</td> <td>129人</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>1,048人</td> <td>4人</td> <td>109人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中学校</td> <td>5年度</td> <td>516人</td> <td>3人</td> <td>73人</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>564人</td> <td>4人</td> <td>76人</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>597人</td> <td>4人</td> <td>69人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 補助対象品目 学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、通学費、体育実技用具費、学校給食費、医療費、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費、卒業アルバム代</p> <p>2 特別支援教育就学奨励事業</p> <p>(1) 支給総額 546,411円 (小学校：305,058円 中学校：241,353円)</p> <p>(2) 対象者数 (特別支援学級在籍児童生徒) 小学校：16人(17人) 中学校：6人 (13人)</p>					学校区分	年度	全児童等数	要保護	準要保護	小学校	5年度	1,022人	7人	123人	4年度	1,039人	5人	129人	3年度	1,048人	4人	109人	中学校	5年度	516人	3人	73人	4年度	564人	4人	76人	3年度	597人	4人	69人
	学校区分	年度	全児童等数	要保護	準要保護																															
小学校	5年度	1,022人	7人	123人																																
	4年度	1,039人	5人	129人																																
	3年度	1,048人	4人	109人																																
中学校	5年度	516人	3人	73人																																
	4年度	564人	4人	76人																																
	3年度	597人	4人	69人																																
自己評価	B	評価理由	入学説明会及び事業説明文書の配布により全保護者に事業を周知した。また、年度途中の転入時においても、学校教育課での手続き時に説明を行い、周知漏れを防ぐなど、支援が必要な児童生徒の保護者に対し援助を行った。																																	
方向性	維持																																			
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。																																			

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係												
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																
主要施策	豊かな心を育む教育の推進																
事業No.	3	事業名	奨学資金貸与事業		貸与額												
					2,760,000円												
事業目的	経済的理由により就学が困難で、有用な人材の就学の機会を確保する。																
取 組 内 容 及 び 成 果	次に掲げる要件を備え、砥部町奨学資金奨学生選考委員会で採用された者に対し、奨学金を貸与した。																
	(1) 学校教育法に規定する高等学校又は高等専門学校第3学年までに在学する者																
	(2) 学業・人物ともに優れ、かつ、健康な者																
	(3) 学資の支弁が困難であると認められる者																
	(4) 保護者又は扶養義務者が砥部町に居住する者																
	(5) 20歳未満の者																
	1 貸与実績（5年度）																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>貸与人数</th> <th>貸与上限月額</th> <th>貸与年額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公立</td> <td>8人</td> <td>20,000円</td> <td>1,920,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>3人</td> <td>25,000円</td> <td>840,000円</td> </tr> </tbody> </table>					区分	貸与人数	貸与上限月額	貸与年額	公立	8人	20,000円	1,920,000円	私立	3人	25,000円	840,000円
	区分	貸与人数	貸与上限月額	貸与年額													
	公立	8人	20,000円	1,920,000円													
私立	3人	25,000円	840,000円														
2 償還実績（5年度）																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>償還者数</th> <th>償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23人</td> <td>1,785,000円</td> </tr> </tbody> </table>					償還者数	償還額	23人	1,785,000円									
償還者数	償還額																
23人	1,785,000円																
3 基金管理（基金運用状況）																	
(1) 期首 30,818,898円（通帳残高 16,128,398円 未償還額 14,690,500円）																	
<ul style="list-style-type: none"> ・貸与金 2,760,000円 ・償還金 1,785,000円 ・利息 765円 																	
(2) 期末 30,819,663円（通帳残高 15,154,163円 未償還額 15,665,500円）																	
自己評価	B	評価理由	令和5年度は新たに申請のあった5人全員の貸与を決定し、貸付を開始した。また、償還管理についても適正に実施した。														
方向性	維持																
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。																

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

	所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。			
主要施策	豊かな心を育む教育の推進			

事業No.	4	事業名	特別支援教育推進事業	決算額	37,975,133円
-------	---	-----	------------	-----	-------------

事業目的	支援を要する全ての幼児及び児童生徒が豊かに学校生活を送れるように具体的な支援を行なう。
------	---

取組内容及び成果	1 教育支援委員会 特別支援学級への入級、学校生活支援員配置、通級指導の要否等の就学に必要な事項を審議した。 (1) 教育支援委員会会議開催回数 3回 (審議対象者数 51人 委員報酬 14,000円) (2) 教育相談開催回数 2回 (相談者数 42人 相談員謝礼等 65,732円) (3) 発達検査回数4回 (検査対象者数 4人 発達検査員謝礼 40,000円・検査用紙 25,744円)																																				
	2 巡回相談 特別支援教育士等による巡回相談を実施し、学校等における日常の授業等を観察して、発達の遅れやその心配のある対象者への効果的な支援及び指導の在り方についてアドバイスした。 (1) 巡回相談員派遣日数 32日 (対象者数 105人 相談員謝礼 343,000円)																																				
	3 特別支援連携協議会 特別支援連携協議会を開催し、関係機関の連携、研修会の実施による教職員の資質向上、保護者理解の促進を図った。 (1) 開催回数 2回 (2) 特別支援教育周知講演会開催回数 1回 (講師謝礼 5,000円)																																				
	4 学校生活支援員配置 ※()は対象児童生徒数																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">幼稚園</th> <th colspan="2">小学校</th> <th colspan="2">中学校</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>2人</td> <td>(2人)</td> <td>21人</td> <td>(40人)</td> <td>2人</td> <td>(2人)</td> <td>25人</td> <td>(44人)</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>3人</td> <td>(4人)</td> <td>22人</td> <td>(39人)</td> <td>3人</td> <td>(3人)</td> <td>28人</td> <td>(46人)</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>3人</td> <td>(4人)</td> <td>20人</td> <td>(33人)</td> <td>3人</td> <td>(3人)</td> <td>26人</td> <td>(40人)</td> </tr> </tbody> </table>	年度	幼稚園		小学校		中学校		合計		5年度	2人	(2人)	21人	(40人)	2人	(2人)	25人	(44人)	4年度	3人	(4人)	22人	(39人)	3人	(3人)	28人	(46人)	3年度	3人	(4人)	20人	(33人)	3人	(3人)	26人	(40人)
年度	幼稚園		小学校		中学校		合計																														
5年度	2人	(2人)	21人	(40人)	2人	(2人)	25人	(44人)																													
4年度	3人	(4人)	22人	(39人)	3人	(3人)	28人	(46人)																													
3年度	3人	(4人)	20人	(33人)	3人	(3人)	26人	(40人)																													
	(1) 費用 ・支援員報酬等 33,528,657円 ・旅費 10,194円																																				
	5 医療的ケア 日常的に医療的ケアを必要とする特別支援学級在籍児童の学校での支援について訪問看護事業所より学校に看護師を配置し、医療的ケアを安全に提供できる環境整備を図った。 (1) 医療的ケア児支援業務 (派遣日数 98日 派遣時間 600時間 委託料3,993,000円)																																				

自己評価	B	評価理由	相談事業により、特別な支援が必要と思われる児童生徒の現状を把握し、当該児童生徒の状態に応じた支援を行った。また、学校生活の見守り支援が必要な児童生徒に対しては、学校生活支援員を配置し適切に支援を行った。
------	---	------	---

方向性	維持
-----	----

課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。
--------	-------------------

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	豊かな心を育む教育の推進					
事業No.	5	事業名	地域の特性を生かす教育推進事業		決算額	950,000円
事業目的	自然、歴史、文化などの地域の特性を生かした特色ある教育活動を推進し、心豊かで潤いのある充実した生活の創造を図る。					
取 組 内 容 及 び 成 果	1 特色のある教育活動への助成 小・中学校の個性ある取組みを円滑かつ効果的に実施するため、次の活動に対し、交付金を交付した。					
	(1) 地域の歴史、文化、自然を生かす活動					
	(2) 地域に根ざした勤労、奉仕を体験する活動					
	(3) 交流の輪を広げる活動					
	(4) 学校、地域の伝統を築く活動					
	(5) その他学校、地域の特性を生かす活動					
	2 交付額					
	(1) 砥部地域小学校 各200,000円					
	(2) 広田小学校 100,000円					
	(3) 砥部中学校 250,000円					
3 学校別事業内容						
学校名		事業内容				
麻生小学校		環境学習、地域交流、校区探検、福祉学習、砥部焼学習、幼児交流、栽培活動、講演会など				
宮内小学校		幼児交流、地域探検、奉仕活動、花・野菜栽培、お話ボランティアなど				
砥部小学校		地域高齢者・砥部小OB交流、働く人に学ぶ学習、地域の伝統文化・歴史調査、野菜・米作り体験など				
広田小学校		野菜・米作り、砥部焼作り、伝統芸能（太鼓・万歳）、オペレッタ発表				
砥部中学校		総合的な学習（町の実態学習、人権学習、職場体験学習）				
自己評価	B	評価理由	地域の「もの」や「ひと」に触れることで、地域への知識や理解を深めることができた。また、SDG s を意識して地域資源を活用した教育を展開した。			
方向性	維持					
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校給食係			
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。							
主要施策	豊かな心を育む教育の推進							
事業No.	6	事業名	学校給食運営事業		決算額	180,503,730円		
事業目的	調理業務を衛生的かつ円滑、効果的に実施し、栄養バランスのとれた安全で安心な給食を提供する。							
取 組 内 容 及 び 成 果	1 学校給食センター運営委員会 学期ごとに学校給食センター運営委員会を開催し、学校給食の取り組み状況等を報告するとともに、給食費の改正について協議を行った。(4回開催)							
	2 給食調理							
	(1) 実施回数 194回/年 食数 1,827人/日							
	(2) 給食費(学校給食材料費負担金) 35,377,782円 ※給食センター管理費に充当 平成29年4月～ 令和6年4月～							
		幼稚園	小学校	中学校		幼稚園	小学校	中学校
	1食あたり	235円	250円	290円	1食あたり	275円	295円	340円
	3 運営経費 (単位:円)							
	年度	人件費	消耗品費	燃料/光熱水費	賄材料費	修繕/工事費	その他	計
	5年度	58,912,466	4,387,852	20,471,186	88,472,700	3,848,500	10,202,059	186,294,763
	4年度	52,904,912	4,222,880	21,487,293	87,815,458	2,060,667	12,012,520	180,503,730
3年度	50,077,580	4,784,844	17,692,650	92,918,550	2,534,730	9,445,406	177,453,760	
4 地産地消の推進(町内産物資の状況)								
(1) 購入額合計 3,599,415円								
(2) 物資種類 ほうれん草、キャベツ、米、七折梅など								
5 学校給食費保護者負担軽減支援事業 物価高騰等によって影響を受けている保護者の負担を軽減するため、第2・3学期について、園児・児童・生徒分の給食材料費負担金を全額免除し、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当しました。								
(1) 免除額合計 48,405,776円								
(2) 免除延べ食数 187,533食								
自己評価	B	評価理由 幼稚園から中学校までの成長期の子供たちに対し、発育段階に応じた栄養豊かな給食を事故なく提供するとともに、県学校給食会を通じ、可能な限り町内産の米を確保し、地産地消を推進する等、栄養バランスのとれた安全で安心な給食の提供を行った。 また、運営委員会において、給食費の適正な価格について検証し、令和6年度からの給食費について協議を行った。						
方向性	維持							
課題と取り組み	地産地消の推進について、現行の取り組みを継続して実施する。 物価高騰による給食材料費について、定期的に検証し、健全な給食運営に努める。							

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係・学校教育係																												
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																																
主要施策	豊かな心を育む教育の推進																																
事業No.	7	事業名	校務支援・業務改善事業		決算額	23,872,774円																											
事業目的	教職員一人ひとりに校務用PCを配備し、効率の良い校務環境を提供するとともに、社会問題化している教職員の長時間勤務の改善を図る。																																
取組内容及び成果	<p>1 校務用PCの配備 教育委員会1台 小学校89台 中学校60台（校務支援システム含む）</p> <p>(1) リース期間 令和2年8月～令和7年7月（5年間リース）</p> <p>(2) 支払総額 91,608,000円（うち5年度分18,321,600円）</p> <p>2 愛媛スクールネット（ES-net）の活用</p> <p>県下の小中学校等を結ぶ愛媛の教育専用ネットワークに参画し、インターネットによる情報の収集・発信の手段として校務事務に活用した。</p> <p>(1) 回線利用料 435,600円</p> <p>3 学校閉庁日の設定</p> <p>学校業務閑散期となる8月中旬に学校閉庁日を設け、教職員の休暇取得を促すことにより、心身の健康増進や地域活動等へ参画しやすい体制整備を図った。</p> <p>(1) 実施期間 8月10日(木)～15日(水)</p> <p>4 スクール・サポート・スタッフの配置</p> <p>教材の作成など、教員の事務を補助するスクール・サポート・スタッフを各小・中学校に1人配置し、相談体制を充実させたことにより、教員の負担軽減に繋げることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>延べ配置日数</th> <th>延べ配置時間</th> <th>人件費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麻生小学校</td> <td>210日</td> <td>840時間</td> <td>1,010,985円</td> </tr> <tr> <td>宮内小学校</td> <td>210日</td> <td>840時間</td> <td>1,009,675円</td> </tr> <tr> <td>砥部小学校</td> <td>207日</td> <td>828時間</td> <td>1,017,449円</td> </tr> <tr> <td>広田小学校</td> <td>210日</td> <td>840時間</td> <td>1,040,624円</td> </tr> <tr> <td>砥部中学校</td> <td>210日</td> <td>840時間</td> <td>1,036,841円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,047日</td> <td>4,188時間</td> <td>5,115,574円</td> </tr> </tbody> </table>					学校名	延べ配置日数	延べ配置時間	人件費	麻生小学校	210日	840時間	1,010,985円	宮内小学校	210日	840時間	1,009,675円	砥部小学校	207日	828時間	1,017,449円	広田小学校	210日	840時間	1,040,624円	砥部中学校	210日	840時間	1,036,841円	合計	1,047日	4,188時間	5,115,574円
	学校名	延べ配置日数	延べ配置時間	人件費																													
麻生小学校	210日	840時間	1,010,985円																														
宮内小学校	210日	840時間	1,009,675円																														
砥部小学校	207日	828時間	1,017,449円																														
広田小学校	210日	840時間	1,040,624円																														
砥部中学校	210日	840時間	1,036,841円																														
合計	1,047日	4,188時間	5,115,574円																														
自己評価	B	評価理由	校務支援ソフトウェアの活用やスクール・サポート・スタッフの配置等により教職員の業務負担軽減に努めた。																														
方向性	拡大																																
課題と取組み	令和5年度の調査では教職員の在校時間が9時間55分程度（昨年度は9時間54分）であり、慢性的な時間外の解消に繋がっていない。今後さらなる教職員の在校時間の縮減を図るため、業務の効率化及び地域連携事業を推進する。																																

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

所管課名		学校教育課		担当係		学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。						
主要施策	豊かな心を育む教育の推進						
事業No.	8	事業名	いじめ・不登校等対策事業			決算額	3,190,981円
事業目的	いじめ、不登校等の諸問題に対応するため、相談員等の体制整備を図り、保護者や児童生徒への相談、教職員への指導助言を行い、児童生徒の健全育成を図る。						
取組内容及び成果	1 ハートなんでも相談員の配置 2人 ※小学校のみ						
	(1) 派遣日数 140日		5年度	4年度	増減		
	(2) 勤務時間 560時間 ※4校巡回	相談件数	563件	468件	95件		
	(3) 費用 560,000円						
	2 スクールカウンセラーの配置 1人(県より派遣) ※中学校のみ						
(1) 配置日数 39日		5年度	4年度	増減			
(2) 相談人数 延べ300人	相談件数	300件	320件	▲20件			
3 スクールソーシャルワーカーの配置 2人							
(1) 配置日数 230日		5年度	4年度	増減			
(2) 相談件数 183件	相談件数	小学校	78件	44件	34件		
(3) 費用 2,252,414円		中学校	105件	53件	52件		
4 Q-Uアンケート調査の実施							
標準化された心理検査「Q-Uアンケート」を実施し、生徒の状況を把握するとともに、学級経営の健全化に努めた。							
(1) 費用 378,567円							
5 サポートルーム							
麻生小学校にサポートルームを開設した。砥部小学校サポートルームと同様に不登校児童の居場所の確保に努めた。							
自己評価	B	評価理由	スクールソーシャルワーカー等の専門的知識を持った相談員を配置することで、いじめや不登校で悩んでいる児童生徒、保護者及び教員からの相談に適切に対応した。				
方向性	拡大						
課題と取組み	不登校の児童生徒が登校し易い環境整備を図り、多様な対応を可能とするため、サポートルームの整備を推進する。 不登校に関する相談件数が増加しており、新規の長期欠席者が増加しないよう、早期での対応が重要となっている。サポートルーム等を有効活用するためにも、学校間の連携を強化する。						

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係																																																					
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																																																									
主要施策	豊かな心を育む教育の推進																																																									
事業No.	9	事業名	山村留学センター運営事業		決算額	19,031,901円																																																				
事業目的	人口減少や地域で固定化する人間関係など、小規模校が抱える課題の解消を図るとともに、豊かな自然環境の中での共同生活、体験活動を通じて「心豊かでたくましい子ども」の育成を図る。																																																									
取組内容及び成果	県内外から小学生を受け入れ、山村留学センターでの集団生活や様々な自然体験・勤労体験・地域住民との交流を通して子どもたちの育成を図った。																																																									
	1 留学児童 入所児童の状況																																																									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>4年</th> <th>5年</th> <th>6年</th> <th>計</th> <th>前年比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男子</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>2人</td> <td>1人</td> <td>0人</td> <td>6人</td> <td>△3</td> </tr> <tr> <td>女子</td> <td>0人</td> <td>0人</td> <td>1人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>7人</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0人</td> <td>3人</td> <td>3人</td> <td>4人</td> <td>3人</td> <td>13人</td> <td>△3</td> </tr> </tbody> </table>				学年	2年	3年	4年	5年	6年	計	前年比	男子	0人	3人	2人	1人	0人	6人	△3	女子	0人	0人	1人	3人	3人	7人	0	計	0人	3人	3人	4人	3人	13人	△3	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">(出身地別内訳)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東京都</td> <td>1人</td> <td>神奈川県</td> <td>1人</td> <td>埼玉県</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>兵庫県</td> <td>1人</td> <td>大阪府</td> <td>1人</td> <td>香川県</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>岡山県</td> <td>1人</td> <td>愛媛県</td> <td>6人</td> <td>計</td> <td>13人</td> </tr> </tbody> </table>	(出身地別内訳)			東京都	1人	神奈川県	1人	埼玉県	1人	兵庫県	1人	大阪府	1人	香川県	1人	岡山県	1人	愛媛県	6人	計	13人
	学年	2年	3年	4年	5年	6年	計	前年比																																																		
男子	0人	3人	2人	1人	0人	6人	△3																																																			
女子	0人	0人	1人	3人	3人	7人	0																																																			
計	0人	3人	3人	4人	3人	13人	△3																																																			
(出身地別内訳)																																																										
東京都	1人	神奈川県	1人	埼玉県	1人																																																					
兵庫県	1人	大阪府	1人	香川県	1人																																																					
岡山県	1人	愛媛県	6人	計	13人																																																					
2 収支決算書 ※正職員人件費を除く																																																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>5年度</th> <th>4年度</th> <th>差引増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歳出</td> <td>19,031,901</td> <td>21,186,110</td> <td>△ 2,154,209</td> </tr> <tr> <td>歳入</td> <td>5,391,135</td> <td>6,780,380</td> <td>△ 1,389,245</td> </tr> </tbody> </table>				年度	5年度	4年度	差引増減	歳出	19,031,901	21,186,110	△ 2,154,209	歳入	5,391,135	6,780,380	△ 1,389,245																																											
年度	5年度	4年度	差引増減																																																							
歳出	19,031,901	21,186,110	△ 2,154,209																																																							
歳入	5,391,135	6,780,380	△ 1,389,245																																																							
3 山村留学センター運営協議会 山村留学事業の円滑な実施及び振興充実を図るため、地域、PTA、学校関係者等で構成する協議会を開催した。 ・第1回 8月17日(木) 現状報告等 ・第2回 2月21日(水) 事業報告、次年度受入状況報告																																																										
自己評価	B	<p>評価理由</p> <p>広報活動等により13人の留学児童を確保した。このことで、小規模校が抱える課題である多様な人間との関わりを持つことができ、仲間づくりや学習活動の充実を図ることができた。また高市地区、広田地区だけでなく砥部地区との関わりをもつことができ、体験活動を充実させることができた。このことで心豊かでたくましい子どもの育成につながった。</p>																																																								
方向性	維持																																																									
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。																																																									

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	たくましく生きる子どもの育成					
事業No.	10	事業名	教育活動支援事業		決算額	3,010,136円
事業目的	小中学校が校外で実施する各種教育活動に要する経費に対し、補助金を交付し、もって砥部町の教育振興、心豊かで潤いのある充実した生活の創造を図る。					
取組内容及び成果	1 少年自然の家利用助成事業 1,344,180円 実施場所 小学校 大三島少年自然の家、松山市野外活動センター 中学校 大洲青少年交流の家					
	学校区分	年度	一般	要・準要保護	特支奨励対象	補助金額
	小学校	5年度	173人	12人	2人	850,654円
		4年度	141人	23人	2人	788,569円
		3年度	156人	16人	1人	781,451円
	中学校	5年度	163人	23人	1人	493,526円
		4年度	141人	23人	3人	434,651円
		3年度	136人	21人	2人	316,840円
	2 選手派遣費交付事業 1,665,956円					
	大会名		補助金額	備考		
中学校総合体育大会		712,318円	地区大会277人、県大会71人、四国大会3人			
全日本吹奏楽コンクール		96,480円	県大会40人			
中学校新人体育大会		707,658円	地区大会111人、県大会67人			
愛媛中学駅伝競走大会		70,080円	17人			
全日本アンサンブルコンテスト		79,420円	県大会32人			
自己評価	B	評価理由	小中学校の集団学習活動は336人の児童生徒が、中学校の総合体育大会、新人大会等は618人の生徒が参加した。児童生徒が参加しやすい環境の整備に向けて、学校活動に対し適切に支援を行った。			
方向性	維持					
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係																											
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																															
主要施策	たくましく生きる子どもの育成																															
事業No.	11	事業名	保健対策事業		決算額	7,717,924円																										
事業目的	児童生徒及び教職員が、心身ともに健康で学校生活を送ることができるよう、病気等の早期発見・予防につなげる。																															
取組内容及び成果	<p>1 児童生徒健康診断</p> <p>学校保健安全法に基づき、定期健康診断、学校医による各種検診（内科・歯科・眼科・耳鼻咽喉科）を実施した。また、学校保健委員会を組織し、児童生徒の健康保持、増進を図った。</p> <p>(1) 費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医・学校薬剤師報酬 836,000円 出向料・技術料（検診） 1,919,300円 ・児童生徒健康診断委託料 2,934,019円 健康手帳印刷費 179,300円 ・伊予地区結核対策委員会 28,800円 <p>(2) 検査項目 尿、心電図、モアレ検査、小児生活習慣病予防健診、胸部X線検査、食事生活調査</p> <p>2 教職員健康診断</p> <p>(1) 費用 教職員健診委託料 1,671,285円 ストレスチェック委託料 77,220円</p> <p>(2) 検査項目 基本検査、尿、心電図、血液、眼底、胃がん、大腸がん、ストレスチェック</p> <p>3 教室の開催</p> <p>生命誕生のしくみや生命の連続性について理解し、自他共に生命を大切にしようという気持ちを深めるため、思春期教室を開催した。</p> <p>(1) 講師 県立医療技術大学 中越利佳、井上明子</p> <p>(2) 開催内容</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>学校</th> <th>実施日</th> <th>演題</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>麻生小学校</td> <td>5月23日</td> <td>「生きてるだけで100点満点!!～すてきないのち・輝くいのち～」</td> <td>5年生児童70名・教職員</td> </tr> <tr> <td>宮内小学校</td> <td>5月22日</td> <td>「命の誕生」</td> <td>5年生児童57名・教職員</td> </tr> <tr> <td>砥部小学校</td> <td>10月30日</td> <td>「生命の誕生」</td> <td>5年生児童38名・教職員</td> </tr> <tr> <td>広田小学校</td> <td>5月30日</td> <td>「生命誕生」</td> <td>5・6年生児童9名・教職員</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">砥部中学校</td> <td>6月30日</td> <td>「中学3年生のあたなに伝えたいこと 性を大切に」 —大切な自分と相手を守るために—</td> <td>3年生生徒172名・教職員</td> </tr> <tr> <td>11月28日</td> <td>「生命誕生・男女交際」</td> <td>1年生生徒169名・教職員</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 費用 思春期教室講師謝礼72,000円(麻生・宮内・砥部・広田小学校、砥部中学校)</p>					学校	実施日	演題	参加者	麻生小学校	5月23日	「生きてるだけで100点満点!!～すてきないのち・輝くいのち～」	5年生児童70名・教職員	宮内小学校	5月22日	「命の誕生」	5年生児童57名・教職員	砥部小学校	10月30日	「生命の誕生」	5年生児童38名・教職員	広田小学校	5月30日	「生命誕生」	5・6年生児童9名・教職員	砥部中学校	6月30日	「中学3年生のあたなに伝えたいこと 性を大切に」 —大切な自分と相手を守るために—	3年生生徒172名・教職員	11月28日	「生命誕生・男女交際」	1年生生徒169名・教職員
	学校	実施日	演題	参加者																												
	麻生小学校	5月23日	「生きてるだけで100点満点!!～すてきないのち・輝くいのち～」	5年生児童70名・教職員																												
	宮内小学校	5月22日	「命の誕生」	5年生児童57名・教職員																												
	砥部小学校	10月30日	「生命の誕生」	5年生児童38名・教職員																												
	広田小学校	5月30日	「生命誕生」	5・6年生児童9名・教職員																												
	砥部中学校	6月30日	「中学3年生のあたなに伝えたいこと 性を大切に」 —大切な自分と相手を守るために—	3年生生徒172名・教職員																												
		11月28日	「生命誕生・男女交際」	1年生生徒169名・教職員																												
	自己評価	B	評価理由	児童生徒、教職員の健康診断を実施するとともに、自他共に生命を大切にしようという気持ちを深めるための思春期教室を実施し、心身ともに健康な学校生活を送るための環境を確保した。																												
	方向性	維持																														
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。																															

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	たくましく生きる子どもの育成					
事業No.	12	事業名	運動・体力向上推進事業		決算額	281,021円
事業目的	子どもの心身の健康や体力の向上を図り、楽しさや喜びを味わうことのできる体育の授業やクラブ活動、運動部活動の充実を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 小学校水泳大会、陸上競技大会</p> <p>(1) 水泳大会（6年生）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 7月13日 ・場所 宮内小学校 ・参加人数171人（うち標準記録突破者数 9人、新記録達成者3人） ・費用 173,921円（消耗品、自動車借上料） <p>(2) 陸上競技大会（6年生）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日 10月2日 ・場所 ニンジニアスタジアム ・参加人数181人（うち標準記録突破者数 26人、広田小のみ5年生も参加） ・費用78,540円（自動車借上料） <p>(3) 上位大会の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊予地区陸上大会入賞者 26人、リレー入賞 5チーム ・県陸上大会（伊予地区4位以上）出場者 26人、リレー 1チーム ・費用 28,560円（自動車借上料） <p>2 中学校運動部活動</p> <p>(1) 運動部数（部員数）19部（315人（男子 185人/女子 130人））</p> <p>(2) 種別 軟式野球、ソフトボール、ソフトテニス、バスケットボール、バレーボール、卓球、剣道、柔道、陸上競技、バドミントン</p> <p>(3) 砥部町立中学校における運動部活動の方針 生徒及び教職員双方の負担を考慮し、持続可能な運動部活動の方針を示した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休養日 平日週1日、土日曜1日以上 ・活動時間 平日2時間、休業日3時間程度 					
自己評価	B	評価理由	<p>水泳大会、陸上大会の練習を通じて、体力向上を図った。また、各校においては体力向上推進計画に基づき、各校の課題に取り組んだ。</p> <p>また、えひめ子どもスポーツITスタジアムを活用し、麻生小7学級、宮内小9学級、砥部小1学級が参加し、うち宮内小の4学級が入賞した。</p>			
方向性	維持					
課題と取組み	体力の維持向上のためには家庭での取り組みの強化が求められている。家庭において基礎体力の向上を図るため、えひめ子どもスポーツITスタジアムの活用を推進する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	たくましく生きる子どもの育成					
事業No.	13	事業名	キャリア教育推進事業		決算額	—
事業目的	中学2年生を対象に、地域での職場体験学習を通じ、郷土への理解を深めるとともに、生徒のコミュニケーション能力や勤労観を育み、社会性を涵養する。					
取組内容及び成果	<p>1 えひめジョブチャレンジU-15事業 砥部町教育委員会に登録されている協力事業所等で職場体験学習を実施した。</p> <p>(1) 実施日 9月11日～9月15日の5日間 (2) 参加人数 中学校2年生 164人 (3) 協力事業所 57社</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス業 20社 ・建設・不動産業 2社 ・製造業 3社 ・流通小売業 11社 ・園・学校等 13校 ・官公庁 8機関 					
自己評価	B	評価理由	昨年度より5社多い57社の協力により体験事業に取り組むことで生徒の勤労観を育むことができた。			
方向性	維持					
課題と取組み	引き続き受入事業所を拡充するため、学校及び地域との連携によって新規受入事業所の開拓を図る。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	たくましく生きる子どもの育成					
事業No.	15	事業名	部活動地域移行事業		決算額	75,000円
事業目的	生徒数の減少に伴い学校単位での持続が困難になりつつある部活動と教職員の労働時間の減少のため、部活動を地域スポーツクラブ等に移行する。					
取組内容及び成果	<p>1 地域部活動検討委員会 中学校における部活動の段階的な地域移行について検討するため、「砥部町地域部活動検討委員会」を設置した。令和7年度末までに可能な部活動から休日部活動を廃止する方針を決定した。 (1) 委員数 11名 (2) 開催回数 2回(8月と3月)</p> <p>2 アンケート調査の実施 小学校5・6年生、中学校1・2年生、中学校教員を対象に部活動に関するアンケート調査を実施した。 (1) 調査期間 令和5年11月29日～令和5年12月15日 (2) 調査方法 学校内タブレット端末を使用して、調査用Webフォームから回答 (3) 調査結果 小学生回答者数 320人(回答率94%) 中学生回答者数 344人(回答率86%) 教職員回答者数 29人(回答率97%)</p>					
自己評価	B	評価理由	検討委員会を設置し、一定の方向性を見出せた。			
方向性	維持					
課題と取組み	休日部活動廃止後の生徒の活動の場や機会の提供、受け皿となる団体の確保の方法について検討する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係																		
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。																						
主要施策	教育力の向上																						
事業No.	16	事業名	教職員研修促進事業		決算額	—																	
事業目的	町又は学校独自に研究授業や研修を実施し、教職員の指導力向上、綱紀保持及び服務規律の徹底を図る。																						
取組内容及び成果	<p>1 校内研修会の実施</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>麻生小</th> <th>宮内小</th> <th>砥部小</th> <th>広田小</th> <th>砥部中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>4回</td> <td>6回</td> <td>5回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>延べ参加者数</td> <td>92人</td> <td>225人</td> <td>100人</td> <td>12人</td> <td>60人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※外部講師招致研修のみ</p> <p>(1) 普通救命講習（講師：砥部消防署 AED使用方法等） (2) 人権・同和教育研修（講師：県総合教育センター） (3) 国語教育校内研修（講師：県総合教育センター） (4) キャリアアップ・フォローアップ研修（講師：中予教育事務所指導主事）</p> <p>2 外部講師を招へいせず実施した研修等 ICT活用研修 道徳科の評価 特別支援教育（配慮を要する児童） 学力向上 コンプライアンス研修 研究授業 情報教育研修 など</p> <p>3 町教育委員会主催の研修 県教育支援センター 坪田指導主事による不登校対策研修 町教委職員及び町内小中学校の教員計45名参加 ・県メタサポキャンパスの取組 ・別室登校の児童生徒への支援の在り方 など</p>					種別	麻生小	宮内小	砥部小	広田小	砥部中	開催回数	4回	6回	5回	2回	2回	延べ参加者数	92人	225人	100人	12人	60人
	種別	麻生小	宮内小	砥部小	広田小	砥部中																	
開催回数	4回	6回	5回	2回	2回																		
延べ参加者数	92人	225人	100人	12人	60人																		
自己評価	B	評価理由	各学校が工夫をこらして研修を行うとともに、県教委や教育関係機関が実施する研修会等に参加するなど、指導力向上のための研修を行った。																				
方向性	維持																						
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。																						

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	教育力の向上					
事業No.	17	事業名	学力向上推進事業		決算額	644,843円
事業目的	教育・学習指導の課題を明らかにし、今後の教育内容の改善及び学力の向上を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 砥部町学力向上推進委員会 町内児童生徒の学力向上を目的に、全国学力・学習状況調査等の調査結果及び各校が実施する学校評価の分析を行うとともに、推進教員が先進校視察による報告会を行い、各校においては授業研究会を行った。</p> <p>(1) 開催回数 4回（委員会1回、実践活動部会3回）</p> <p>2 学力診断テストの実施 町内児童生徒の学習定着を判断するため、町単独予算での学力診断テストを実施した。</p> <p>(1) 対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 3～4年生（国語、算数、社会、理科） ・中学校 1年生（国語、数学、社会、理科） 2～3年生（国語、数学、社会、理科、英語） <p>(2) 経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 408,695円 ・中学校 236,148円 					
自己評価	B	評価理由	学力診断テストの結果を分析し学力向上推進委員会を通じて効果的な指導を行うとともに、各学校の学力向上推進主任で構成する実践活動部会が中心となり、授業公開を進めるなど、授業力の向上に努めた。			
方向性	維持					
課題と取組み	小学校の学力診断テストは、参加者が全国でも1万人程度であることからテスト結果からの傾向分析や全国平均との比較が有効であると言いきれない点があり、6年度からは実施しない。EILSを使ったふり返しテスト等の活用で学力向上を図る。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	学校教育係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	教育力の向上					
事業No.	18	事業名	情報教育推進事業		決算額	3,949,060円
事業目的	コンピューターに慣れ親しみ、情報や情報手段を主体的に選択し活用していくために必要な情報活用能力を育成し、児童生徒の確かな学力の定着向上を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 GIGAスクール構想への対応 タブレット端末を活用した授業の支援や教職員への研修、また教材作成等の支援ができる支援員を配置するなど、本町のICT教育を推進した。</p> <p>(1) ICT支援員の配置（1人） 1,668,058円 ≪参考≫ タブレット端末総台数 1,817台 ・小学校 1,169台 ・中学校 641台</p> <p>(2) 愛媛新聞forスタディの活用 660,000円 子ども用デジタル版新聞を活用し、社会情勢への関心や新聞を読むことで情報活用能力の育成を図った。</p> <p>(3) 愛媛県学習支援システム（EILS）の活用 300,000円 デジタル版のテストやドリルなど実施できるシステムを活用し、効率的な学習活動に取り組んだ。</p> <p>2 デジタル教科書の活用 文部科学省提供教材を含め、一部の教材でデジタル教科書を導入した。</p> <p>(1) 小学校 1,239,492円 英語（5・6年学習者用）、算数（5・6年学習者用、1～6年指導者用）、社会（5・6年学習者用、5・6年指導者用）</p> <p>(2) 中学校 81,510円 英語（1～3年学習者用）、数学（1～3年指導者用）</p>					
自己評価	B	評価理由	ICT支援員の配置を行い、タブレットやデジタル教科書などのデジタル教材の活用に取り組んだ。			
方向性	維持					
課題と取組み	教員の技術力によって新聞アプリやEILS（エイリス）の活用に差がある。教員間技術格差を是正するため、ICT支援員を活用し、研修の充実を図る。 また、学びの幅を広げ、内容理解を深められるよう、デジタル教科書の活用を図る。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。				
主要施策	教育環境の整備				
事業No.	19	事業名	学校間連携推進事業		決算額
					—
事業目的	校長会等を通じ、学校間及び教育委員会で情報を共有し、問題の解決や未然防止に当たり、健全な学校運営を図る。				
取組内容及び成果	<p>1 校長会の開催 学校行事や学校運営、また教職員による不祥事防止策などの共通認識を図るため、中予教育事務所（管理主事）を交えて会議を開催した。</p> <p>(1) 開催頻度 3回/年</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事について ・各校防災対策の現状について ・校務支援システムの利用について ・修学旅行、自然の家、長期休暇中の過ごし方等学校経営について など <p>2 行事打合せ会 各種行事における学校と教育委員会事務局との連携を密にするため、毎月1回開催した。</p> <p>(1) 開催回数 11回（8月を除く）</p> <p>3 共同学校事務室の運営 拠点校を砥部中学校とする「砥部町共同学校事務室」を形成している。事務長を地域長とし、構成校の学校事務を組織的に処理することにより、学校事務の平準化と効率化を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事異動に伴う諸手当の認定 ・給与管理表の確認 ・年末調整 ・期末勤勉、査定昇給 ・就学援助申請関係 ・人事異動関係 				
自己評価	B	評価理由	必要に応じて会議を開催し、学校運営に対する適切な指導や情報を共有したことで、事務負担が軽減され、効率の良い学校経営が図られた。		
方向性	維持				
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。				

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係		
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。						
主要施策	教育環境の整備						
事業No.	20	事業名	学校施設整備・維持管理		決算額	127,910,548円	
事業目的	校舎等の学校施設を適切に管理し、安全・安心な学習環境を整備する。						
取組内容	1 小中学校管理費 (単位：円)						
		人件費	消耗品費	光熱・燃料費	管理委託費	工事・修繕費	その他
	麻生小	0	2,389,373	6,918,284	2,423,080	3,138,414	3,295,994
	宮内小	0	2,019,381	5,536,188	3,830,838	1,715,749	3,785,452
	砥部小	0	1,663,746	5,090,774	2,983,963	1,571,474	6,299,574
	広田小	0	921,268	2,374,094	5,021,434	1,000,810	1,962,247
	トイレ改修	0	0	0	9,790,000	0	0
	人件費	13,086,377	0	0	0	0	0
	小学校計	13,086,377	6,993,768	19,919,340	24,049,315	7,426,447	15,343,267
		人件費	消耗品費	光熱・燃料費	管理委託費	工事・修繕費	その他
砥部中	3,189,303	3,942,289	12,057,465	9,113,973	3,415,198	8,090,401	
中学校計	3,189,303	3,942,289	12,057,465	9,113,973	3,415,198	8,090,401	
及び成果	2 主要事業（再掲） ※50万円以上の工事のみ。						
	(1) 麻生小学校						
	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具修繕工事 797,720円 ・運動場西側フェンス改修工事 957,000円 						
(2) 砥部小学校							
<ul style="list-style-type: none"> ・校舎放送設備更新 2,255,000円 							
(3) 砥部中学校							
<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽修繕工事 694,100円 ・武道場照明器具取替工事 878,900円 							
3 トイレ改修事業							
宮内小学校及び広田小学校の設計業務を委託により実施。（事業費 9,790,000円）							
令和6年度改修工事予定							
自己評価	B	評価理由	予定していた事業を年度内に終えることができた。また、突発的な修繕にも学校活動への影響を与えることなく対応した。				
方向性	維持						
課題と取組み	建物機能の老朽化により学校施設の改修が必要となっている。令和8年度までに学校トイレの環境改善のため、洋式化、乾式化等を計画的に実施する。						

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	学校教育課	担当係	総務係	
目標	未来を担う子どもたちがたくましく健やかに育まれるまちを実現します。					
主要施策	教育環境の整備					
事業No.	21	事業名	学校安全対策事業		決算額	150,128円
事業目的	子どもが安心して、学校生活等を営む環境を確保する。					
取組内容及び成果	<p>1 通学路安全対策事業 砥部町通学路安全対策プログラムに基づき、学校、教育委員会、警察、国、県など関係機関等が連携し、通学路の合同点検及び安全対策を実施した。 危険箇所：28箇所 対策状況：令和6年度までにすべての期間箇所の対策を完了させる。 対策済箇所：18箇所（令和6年3月末時点） 対策内容：横断歩道・外側線・道路標示・標識などの引き直し・新設、ガードレールの新設 支障木の撤去など</p> <p>2 防犯対策事業 凶悪犯罪から子どもを守るため、児童生徒の見守り活動を中心とした防犯活動を実施した。 (1) 青色防犯パトロール 各校1～4回/月 早朝・放課後実施 (2) 防犯ブザー配布（小学校新1年生） 配布個数 158個 (3) スクールガード養成講習会 教職員、PTA役員等 39人参加（講師：松山南警察署 生活安全課長）</p> <p>3 学校防災力強化事業 (1) 砥部町防災教育推進連絡協議会 近年激甚化している大雨や大地震等の災害に備え、避難所となる学校の防災力強化を図るため、町危機管理室及び避難所運営班長の講演を実施し、災害時の避難所運営の再確認と各校の防災力及び避難所運営能力の向上を図った。 （参加者 18人） 町内公立保育所、幼稚園、認定こども園、小・中学校、松山南高校砥部分校 町防災・避難所担当課、学校教育課</p>					
自己評価	B	評価理由	通学路の安全を確保するため、関係機関と協働で合同点検を実施し、令和6年度までに各種安全対策を実施することとした。また、青色パトロールなど防犯活動や学校の防災対策について各種研修会を開催し、学校安全の強化を図った。			
方向性	維持					
課題と取組み	通学路の一部について、安全対策が完了していない。個人財産に係る安全対策を促進するため、費用負担の軽減を図る等、関係部署と連携して対応する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	青少年の健全育成					
事業No.	22	事業名	青少年健全育成事業		決算額	946,728円
事業目的	青少年の非行を防止するとともに、社会への参画意欲や自立への意欲等を促進する。					
取組内容	<p>1 青少年育成センター事業 教育委員会に事務局を置き、補導員1人及び補導委員34人を中心に、青少年に関する相談事業や登校指導・街頭補導等を行い、青少年の健全育成、非行防止のための活動を行った。 ・定例補導委員会 12回（1回/月）、登校指導（58回）、街頭補導（48回）</p> <p>2 とべっ子志縁倶楽部（ボランティア事業） 小・中学校放課後の学習支援活動や登下校の見守り活動、読書支援活動を行った。 ・会員数：25人 ・放課後学習講座（学習指導） 砥部中学校 2回/週 ・放課後わくわくクラブ（学習指導） 麻生・宮内・砥部小学校 1回/週 ・登下校見守り活動 最寄りの場所又は中学校指定の場所で随時</p> <p>3 青少年健全育成事業 (1) とべの里冒険クラブ 前年度養成した大学生のボランティアリーダーが主体となり、町内の小学校4年生～中学生を対象に砥部の魅力を知ってもらうことを目的とした活動を行った。 ・小中学生：13人、ボランティアリーダー：14人 (松山東高校1人、医療技術大学1人、松山大学9人、愛媛大学3人) (実施プログラム)全体での野外キャンプ1回、とべもりジップライン体験などの班活動12回</p> <p>(2) ボランティアリーダー養成事業 令和6年度からとべの里冒険クラブを企画運営する、高校生・大学生のボランティアリーダーの養成事業を行った。 ・ボランティアリーダー数：12人（医療技術大学4人、松山大学5人、愛媛大学3人） (実施プログラム)野外キャンプ講座、子どものメンタルヘルス研修、インタープリター研修 まちあるき実習、来年度活動計画 など</p> <p>(3) とべ焼博士事業(3年継続事業) 砥部町、砥部焼への愛着と誇りを醸成し、将来の砥部町を担う人材を育成するため、町内在住の小学3～6年生を対象に「とべ焼体験学習」を実施した。 ・体験学習事業参加者：10人 (実施プログラム)施設見学、ろくろ・手びねり・絵付け体験、歴史学習フィールドワーク また、学習成果や子どもたちの達成感を得るため、「とべ焼博士検定」を実施した。 ・とべ焼博士検定(2級)受験者：6人 認定者(合格者)：6人</p>					
自己評価	B	評価理由	補導委員・学校・警察・行政の連携による青少年の非行防止事業や、また、とべの里冒険クラブや新規事業のとべ焼博士事業での体験活動事業を通して青少年の健全育成を図るなど、おおむね予定通り事業を展開することができた。			
方向性	維持					
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	国際交流の推進					
事業No.	23	事業名	国際交流事業		決算額	2,600,000円
事業目的	海外の様々な国の文化にふれることで、国際社会に対応できる国際感覚豊かな人材の育成を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 国際交流サマースクールの開催 町内小学生と海外留学生等が集い、寝食を共にする1泊3日の国際交流キャンプを行った。</p> <p>(1) 開催日：8月5日（土）～7日（月） (2) 開催場所：旧高市小学校、陶街道ゆとり公園武道場 (3) 参加者：47人(町内の小学生29人)と愛媛大学の留学生13人他 (4) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開校式（留学生らの自己紹介、ダンスパフォーマンス など） ・ポーランド語講座、科学実験 ・自然体験プログラム（川遊び） ・花火大会 ・スポーツ体験（バンブーダンス、サッカー、柔道） など <p>2 ショパンビレッジフェスティバルin砥部町の開催 ポーランドの世界的なピアニストによるピアノ演奏など、一流の音楽を町民に提供した。</p> <p>(1) 開催日：10月15日（日） (2) 開催場所：砥部町文化会館 (3) 来場者数：817人 (4) 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マグダレナ・ズック氏のピアノコンサート ・ポーランドの芸術祭に招待された日本人パフォーマンス集団 「TORANOKO Performing Arts Company」のライブパフォーマンス ・屋外での世界の料理や雑貨の販売などのキッチンカー、ポーリッシュショップ など 					
自己評価	B	評価理由	小学生に国際交流の機会を提供することで、国際感覚を身に着けるきっかけとなった。また、世界的なピアニストによるピアノ演奏など、異文化に対する理解を深めることができた。			
方向性	維持					
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	公民館係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	ニーズに合わせた学習機会の充実					
事業No.	24	事業名	公民館活動事業		決算額	9,910,720円
事業目的	住民への学習の場を提供するため、子ども・成人・高齢者など幅広い世代を対象とした講座、教室等を開催する。また、多様な学習情報の発信とニーズ調査を行う。					
取組内容及び成果	<p>1 中央公民館の事業 事業費：6,183,083円</p> <p>(1) とべっ子文化の広場教室(24教室 受講生220人)</p> <p>(2) とべっ子ふれあいデイキャンプ(3回 延べ125人)</p> <p>(3) ワールドスタディー講座(年20回 延べ421人)</p> <p>(4) ポーランド語講座(10回 延べ55人)</p> <p>(5) 英会話教室(年30回 延べ464人)</p> <p>(6) まなびや事業(6回 延べ23人)</p> <p>・こども大正琴(5回 13人) ・韓国料理教室(1回 10人)</p> <p>(7) 芸術文化フェスタ(関連事業含む) 来場者 2,551人</p> <p>・発表会(21団体 274人) ・作品展示(845点 1,843人) ・囲碁・将棋大会(20人)</p> <p>(8) 事業参加者等へのアンケート調査 (75人)</p> <p>(9) 広報紙及びホームページ等の発信件数 (63件) ※広報とべ・町HP・LINE・チラシなど</p> <p>2 ひろた交流センターの事業 事業費：9,620円</p> <p>(1) ひろた子どもあそび広場 [竹細工、ウォーターサバイバルゲーム、料理教室2回、キンボール] (5回 延べ120人)</p> <p>(2) ファミリースポーツ選手権[ペタンク大会] (24人)</p> <p>(3) 秋季大運動会[広小・広保・ひろた交流センター合同] (約100人)</p> <p>(4) 広田地域芸能発表会 万歳・和太鼓・ギター・カラオケ・舞踊・軽音楽 など(133人)</p> <p>3 広田ふるさとフェスタ 事業費：3,713,004円</p> <p>(1) 広田からの発信 郷土芸能発表、広田バンド、高原野菜など景品付もちまき、広田地域バザー</p> <p>(2) 地域間交流 演歌歌手ライブショー・仮面ライダーショー ほか (延3,000人)</p>					
自己評価	B	評価理由	新規事業のほか、講座や教室の名称変更、体験の場を設けるなど改善を加え、住民自らが自発的に学ぶための学習の場を提供した結果、前年度と同程度の実績を上げることができた。また、ニーズ調査については、アンケート結果を反映させたふるさと再発見紀行のコース選定を行うなど、順調に進んでいる。			
方向性	維持					
課題と取組み	公民館事業の参加者は、高齢者が多い。幅広い年齢層をターゲットにした公民館事業を展開するため、子ども対象とした事業の導入やSNSなど様々な媒体を活用した広報活動に取り組むなど、引き続き公民館事業の魅力向上を図る。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	公民館係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	社会教育施設の充実					
事業No.	25	事業名	公民館施設管理		決算額	22,506,172円
事業目的	中央公民館やひろた交流センターの利用促進を図るため、教室や発表会の開催など文化芸術活動の場を提供するとともに、安全で快適な生涯学習の場を住民に提供する。					
取 組 内 容 及 び 成 果	1 中央公民館（体育館含む） 17,442,403円					
	【中央公民館】					
	主催事業		その他利用状況（貸館）		合計	
	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数
	723回 (8回)	7,213人 (479人)	2,733回 (218回)	22,459人 (3,690人)	3,456回 (226回)	29,672人 (4,169人)
	※ 主催事業には、文化教室の利用実績を含んでいる。					
	※ () については、日、祝日の利用実績である。					
	【中央公民館体育館】					
	利用回数	利用人数				
	1,583回	25,510人				
2 千里地区公民館 1,008,416円						
主催事業		その他利用状況（貸館）		合計		
利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	
0回	0人	179回	1,423人	179回	1,423人	
3 ひろた交流センター 4,055,353円						
主催事業		その他利用状況（貸館）		合計		
利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	利用回数	利用人数	
77回	516人	74回	2,701人	151回	3,217人	
※ 主催事業には、文化教室の利用実績を含んでいる。						
自己評価	B	評価理由	中央公民館体育館の予約は、愛媛県施設予約システムを導入するなど利用者の利便性の向上を図った。各施設主催事業と貸館の利用が増加している。			
方向性	維持					
課題と取組み	住民の利用拡大を図るため、公民館活動事業のより一層の広報はもとより、安価で利用しやすい施設として広報活動を推進し、自主的な生涯学習の支援を行う。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

	所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。			
主要施策	社会教育施設の充実			

事業No.	26	事業名	読書活動推進事業	決算額	—
-------	----	-----	----------	-----	---

事業目的	図書館において、図書、記録等の資料を収集・保存し、利用者に提供することにより、住民の学習活動や文化活動を推進する。				
------	---	--	--	--	--

取 組 内 容 及 び 成 果	1 図書館																																																								
	(1) 図書館貸出人数 32,687人																																																								
	(2) 図書館貸出冊数 122,154冊 (1日あたり利用者数112人/開館日数291日)																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>5年度</th> <th>4年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸出人数(人)</td> <td>32,687</td> <td>35,339</td> <td>29,632</td> </tr> <tr> <td>町内</td> <td>21,055</td> <td>22,602</td> <td>18,959</td> </tr> <tr> <td>町外</td> <td>11,632</td> <td>12,737</td> <td>10,673</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数(冊)</td> <td>122,154</td> <td>132,815</td> <td>114,389</td> </tr> <tr> <td>町内</td> <td>75,603</td> <td>81,197</td> <td>70,803</td> </tr> <tr> <td>町外</td> <td>46,551</td> <td>51,618</td> <td>43,586</td> </tr> <tr> <td>開館日数(日)</td> <td>291</td> <td>282</td> <td>212</td> </tr> <tr> <td>蔵書冊数(冊)</td> <td>99,800</td> <td>99,748</td> <td>99,454</td> </tr> <tr> <td>1日平均の貸出者数(人)</td> <td>112</td> <td>125</td> <td>140</td> </tr> <tr> <td>1日平均の貸出冊数(冊)</td> <td>420</td> <td>471</td> <td>540</td> </tr> <tr> <td>電子図書館登録者数(人)</td> <td>200</td> <td>224</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>電子図書館閲覧数(点)</td> <td>4,790</td> <td>2,816</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	5年度	4年度	3年度	貸出人数(人)	32,687	35,339	29,632	町内	21,055	22,602	18,959	町外	11,632	12,737	10,673	貸出冊数(冊)	122,154	132,815	114,389	町内	75,603	81,197	70,803	町外	46,551	51,618	43,586	開館日数(日)	291	282	212	蔵書冊数(冊)	99,800	99,748	99,454	1日平均の貸出者数(人)	112	125	140	1日平均の貸出冊数(冊)	420	471	540	電子図書館登録者数(人)	200	224	—	電子図書館閲覧数(点)	4,790	2,816	—
	区 分	5年度	4年度	3年度																																																					
	貸出人数(人)	32,687	35,339	29,632																																																					
	町内	21,055	22,602	18,959																																																					
	町外	11,632	12,737	10,673																																																					
	貸出冊数(冊)	122,154	132,815	114,389																																																					
	町内	75,603	81,197	70,803																																																					
	町外	46,551	51,618	43,586																																																					
	開館日数(日)	291	282	212																																																					
	蔵書冊数(冊)	99,800	99,748	99,454																																																					
1日平均の貸出者数(人)	112	125	140																																																						
1日平均の貸出冊数(冊)	420	471	540																																																						
電子図書館登録者数(人)	200	224	—																																																						
電子図書館閲覧数(点)	4,790	2,816	—																																																						
(3) 図書館事業																																																									
<ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会 (毎月第1・第3土曜日) 167人 ・にこにこほっぺのおはなし会 (毎月第2月曜日) 108人 ・ひろたのみんなのおはなし会 (毎月第1木曜日) 46人 ・ブックスタート (4か月児 毎月、7か月児 奇数月) 102人 ・ポップDEビブリオコンテスト2023 (年1回) 26人 ・図書館たんけん隊 (夏休み中) 15人 ・読書記録帳 (登録者数) 年261人 (現在登録者数935人) 																																																									
(4) 電子図書館																																																									
令和4年10月から運用を開始した電子図書館を広報等で周知することにより、読書活動の推進を図った。・登録者数 (累計) : 424人 ・閲覧数 : 4,790点 ・電子図書所蔵数 1,688点																																																									

自己評価	B	評価理由	電子図書館を広報等で周知することにより、利用者数が増加し、読書活動の推進に繋げることができた。		
------	---	------	---	--	--

方向性	維持				
-----	----	--	--	--	--

課題と取組み	電子図書を充実させ、図書館の利便性の向上を図る。また、継続して効果的な周知を行い、利用者数を増加させる。				
--------	--	--	--	--	--

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。				
主要施策	コミュニティ・スクール導入に向けた取組				
事業No.	27	事業名	コミュニティ・スクール導入事業	決算額	90,056円
事業目的	未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校・家庭・地域住民等が連携協力し、地域全体で子どもたちを育む体制づくりを推進する。				
取組内容及び成果	町内すべての小中学校を対象に令和7年度を目標としてコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入するため、教職員等を対象とした研修会を実施した。				
	月日	テーマ	講師	参加者数	
	7月24日	これからの学校と地域 ～コミュニティ・スクールと地域学校協働活動～	CSマイスター 西村 久仁夫 氏	49人	
	9月19日	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進について		26人	
	9月21日	コミュニティ・スクール導入に係る検討会 (導入までの準備について)		30人	
	11月30日	コミュニティ・スクールの取組事例		21人	
	2月19日	ワークショップ(CSの導入に向けて模擬会議)【熟議】		31人	
自己評価	B	評価理由	研究校（麻生小学校）における運用開始につながるように事業が展開できた。		
方向性	維持				
課題と取組み	令和7年度に全校で運用が開始できるように、研究校（麻生小学校）以外の学校において、導入に向けて研修会を実施するなど、学校と連携して準備を進めていく。				

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係																																														
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。																																																		
主要施策	人権についての教育・啓発の推進																																																		
事業No.	28	事業名	人権教育・人権対策推進事業		決算額	6,531,297円																																													
事業目的	人権問題の解消に向けて、町民一人ひとりが様々な人権問題に対する理解を深め、人権意識の高揚を図る。																																																		
取組内容及び成果	<p>1 人権教育の推進・啓発</p> <p>町民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、研修会や講座などの事業を実施した。</p> <p>(1) 人権教育基礎講座：7月～9月に計6回の講座を開催 受講者数 335人（前年320人）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月日</th> <th>講師</th> <th>演題</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月27日</td> <td>砥部町教育委員会社会教育指導員 大島進氏</td> <td>人権問題入門</td> <td>57人</td> </tr> <tr> <td>8月3日</td> <td>伊予市立双海中学校 教諭 重松邦広氏</td> <td>みんなの幸せをめざして</td> <td>65人</td> </tr> <tr> <td>8月17日</td> <td>愛媛県男女共同参画センター 主任 石丸世志氏</td> <td>自分らしく生きる ～私もあなたも大切に～</td> <td>61人</td> </tr> <tr> <td>8月24日</td> <td>愛媛県立みなら特別支援学校 教諭 菊池俊昭氏</td> <td>バリアフリーからユニバーサルへー誰もが暮らしやすい社会をめざしてー</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>8月31日</td> <td>松山東雲短期大学 教授 桐木陽子氏</td> <td>「もっと進め!!男女共同参画」～一人ひとりの個性、能力が発揮できる社会をめざして～</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>9月7日</td> <td>レインボープライド愛媛 代表 エディ氏</td> <td>同性愛・性別違和について LGBTQ+ 最新情報</td> <td>52人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 人権教育巡回学習会 19地区、233人参加（前年18地区、260人参加）</p> <p>(3) 啓発活動 広報とべ掲載（年4回）</p> <p>2 人権対策活動</p> <p>生活、体調、教育および就労などの地域住民が抱える相談を広域隣保活動相談員が指導、助言及び関係機関への連絡調整を行った。</p> <p>(1) 相談件数 92件（電話22件 来庁20件 訪問50件） ※ 前年78件</p> <p>3 人権関係研修会等への参加</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>大会名</th> <th>開催地</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>愛媛県人権・同和教育研究大会</td> <td>松山市</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>四国地区人権教育研究大会</td> <td>徳島県</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>中予地区人権・同和教育研究協議会</td> <td>砥部町</td> <td>49人</td> </tr> <tr> <td>全国人権・同和教育研究大会</td> <td>兵庫県・京都府・大阪府</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>人権啓発土曜講座</td> <td>伊予市他</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table>					月日	講師	演題	人数	7月27日	砥部町教育委員会社会教育指導員 大島進氏	人権問題入門	57人	8月3日	伊予市立双海中学校 教諭 重松邦広氏	みんなの幸せをめざして	65人	8月17日	愛媛県男女共同参画センター 主任 石丸世志氏	自分らしく生きる ～私もあなたも大切に～	61人	8月24日	愛媛県立みなら特別支援学校 教諭 菊池俊昭氏	バリアフリーからユニバーサルへー誰もが暮らしやすい社会をめざしてー	50人	8月31日	松山東雲短期大学 教授 桐木陽子氏	「もっと進め!!男女共同参画」～一人ひとりの個性、能力が発揮できる社会をめざして～	50人	9月7日	レインボープライド愛媛 代表 エディ氏	同性愛・性別違和について LGBTQ+ 最新情報	52人	大会名	開催地	参加者数	愛媛県人権・同和教育研究大会	松山市	28人	四国地区人権教育研究大会	徳島県	8人	中予地区人権・同和教育研究協議会	砥部町	49人	全国人権・同和教育研究大会	兵庫県・京都府・大阪府	11人	人権啓発土曜講座	伊予市他	21人
	月日	講師	演題	人数																																															
	7月27日	砥部町教育委員会社会教育指導員 大島進氏	人権問題入門	57人																																															
	8月3日	伊予市立双海中学校 教諭 重松邦広氏	みんなの幸せをめざして	65人																																															
	8月17日	愛媛県男女共同参画センター 主任 石丸世志氏	自分らしく生きる ～私もあなたも大切に～	61人																																															
	8月24日	愛媛県立みなら特別支援学校 教諭 菊池俊昭氏	バリアフリーからユニバーサルへー誰もが暮らしやすい社会をめざしてー	50人																																															
	8月31日	松山東雲短期大学 教授 桐木陽子氏	「もっと進め!!男女共同参画」～一人ひとりの個性、能力が発揮できる社会をめざして～	50人																																															
	9月7日	レインボープライド愛媛 代表 エディ氏	同性愛・性別違和について LGBTQ+ 最新情報	52人																																															
	大会名	開催地	参加者数																																																
	愛媛県人権・同和教育研究大会	松山市	28人																																																
四国地区人権教育研究大会	徳島県	8人																																																	
中予地区人権・同和教育研究協議会	砥部町	49人																																																	
全国人権・同和教育研究大会	兵庫県・京都府・大阪府	11人																																																	
人権啓発土曜講座	伊予市他	21人																																																	
自己評価	B	評価理由	「人権教育基礎講座」は、昨年度よりも受講者数を増やすことができた。「人権教育巡回学習会」は、19地区で実施することができ、DVDの視聴及び意見発表だけでなく、各学校の人権に関する取組を地域住民に情報提供した。																																																
方向性	維持																																																		
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。																																																		

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	人権擁護の推進と相談体制の充実					
事業No.	29	事業名	人権擁護推進事業		決算額	27,263円
事業目的	人権を侵害しようとする存在から、住民を守り助けるための活動を推進する。					
取組内容及び成果	<p>1 人権相談事業 人権擁護委員と連携し、月に一度、人権相談窓口を設置した。 ・中央公民館 12回、ひろた交流センター 3回 (相談件数 2件)</p> <p>2 人権の花運動 命の大切さや思いやりの心を育んでもらう活動として、人権擁護委員から贈呈された花苗を児童が育てる人権の花運動を行いました。育てた花は人権啓発のため、和合苑・町中央公民館に設置しました。 ・事業実施対象校 宮内小学校 4年生 66人</p> <p>3 ネットにおける人権侵害等のモニタリング管理 新たに社会問題化しているインターネット上での人権侵害に目を向け、職員による定期的なモニタリングを実施した。</p>					
自己評価	B	評価理由	充実した相談体制を確立するなど、人権擁護の推進を図ることができた。			
方向性	維持					
課題と取組み	現行の取り組みを継続して実施する。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	社会教育係	
目標	身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。					
主要施策	男女共同参画の推進					
事業No.	30	事業名	男女平等教育の推進		決算額	14,200円
事業目的	性別に関わりなく社会活動に参画できるまちづくりを推進するため、住民一人ひとりが性別に捕らわれない人権尊重精神の涵養を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 女性の人権・男女共同参画に関する研修会 人権教育基礎講座の一環として、中央公民館において講演会を実施した。 [研修内容] 第3回(8月17日) テーマ:女性・子どもの人権 参加人数61人 第5回(8月31日) テーマ:男女共同参画 参加人数50人 ・対象者 区長会、議会、分館長会、老人クラブ、各小中学校教職員、各PTA ほかに町民</p> <p>2 女性団体育成事業 町内において主に女性が中心となって活動している団体及び砥部町女性団体連絡協議会に研修の場を提供する等、側面から支援を行った。</p> <p>(1) 女性の人権・男女共同参画に関する講演会の開催 ・1月19日 男女共同参画推進講演会(テーマ:防災) 33人参加 ・3月7日 女性の人権に関する講演会 15人</p> <p>(2) ボランティア活動への支援 ・芸術文化フェスタに受付や展示作品の監視のボランティア活動 13人参加 ・一日食品衛生監視事業で町内事業所への監視のボランティア活動 17人参加</p> <p>(3) 研修機会の提供 ・男女共同参画社会づくり推進県民大会 1人参加 ・えひめ婦人大会 1人参加 ・砥部町人権教育基礎講座 11人参加 ・砥部町人権の町づくり集会 参加 ・中予地域消費者被害防止フォーラム 8人参加</p> <p>(4) 女性団体の活性化のための親睦会の支援 ・料理講習会の開催 14人参加</p>					
自己評価	B	評価理由	女性の人権問題を考えるための人権教育基礎講座を開催した。また、女性団体によるボランティア活動の実施や研修機会を提供することにより、女性団体の活性化を図った。			
方向性	拡大					
課題と取組み	女性団体の活性化が求められている。学習会やボランティア活動を通して、女性団体としての活動意義を明確にし、当該女性団体が取り組む、女性の人権や社会参画に関する課題解決のための活発な活動を促すための支援を行う。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係																																
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。																																				
主要施策	文化・芸術活動への参加促進																																				
事業No.	31	事業名	文化会館管理運営		決算額	249,976,939円																															
事業目的	文化・芸術活動の拠点となる場を提供し、活発な文化・芸術活動を推進する。																																				
取 組 内 容 及 び 成 果	砥部町文化会館条例等に基づき、指定管理者であるアクティオ株式会社が管理運営している。 1 文化会館の利用状況 (1) 利用者数 60,467人（うち、ホール 26,275人、会議室 34,192人） (2) ふれあいホール稼働率 59.4%（稼働日数 206日／開館日数 347日）																																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>5 年度</th> <th>4 年度</th> <th>3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>60,467</td> <td>45,891</td> <td>28,247</td> </tr> <tr> <td>うち、ホール</td> <td>26,275</td> <td>23,908</td> <td>14,514</td> </tr> <tr> <td>うち、会議室等</td> <td>34,192</td> <td>21,983</td> <td>13,733</td> </tr> <tr> <td>開館日数(日)</td> <td>347</td> <td>346</td> <td>255</td> </tr> <tr> <td>ホール稼働日数(日)</td> <td>206</td> <td>240</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>ホール稼働率(%)</td> <td>59.4</td> <td>69.4</td> <td>62.3</td> </tr> <tr> <td>利用料(円)</td> <td>8,815,400</td> <td>8,595,000</td> <td>5,093,750</td> </tr> </tbody> </table>					区 分	5 年度	4 年度	3 年度	利用者数(人)	60,467	45,891	28,247	うち、ホール	26,275	23,908	14,514	うち、会議室等	34,192	21,983	13,733	開館日数(日)	347	346	255	ホール稼働日数(日)	206	240	159	ホール稼働率(%)	59.4	69.4	62.3	利用料(円)	8,815,400	8,595,000	5,093,750
	区 分	5 年度	4 年度	3 年度																																	
	利用者数(人)	60,467	45,891	28,247																																	
	うち、ホール	26,275	23,908	14,514																																	
	うち、会議室等	34,192	21,983	13,733																																	
	開館日数(日)	347	346	255																																	
	ホール稼働日数(日)	206	240	159																																	
	ホール稼働率(%)	59.4	69.4	62.3																																	
	利用料(円)	8,815,400	8,595,000	5,093,750																																	
(3) 文化会館事業 ・シリーズ-魅力ある愛媛の音楽家たち-Vol.19 太鼓打ち松浦充長夏越ノ太鼓（6月） 409人 ・えひめプライム・コンサートvol.2 金子三勇士ピアノ・リサイタルin砥部（9月） 309人 ・ものまねDREAM LIVE 2023（10月） 683人 ・第14回チャリティフェスティバル 第24回ハンドクラフトマーケット（12月） 2,000人 ・シリーズ-魅力ある愛媛の音楽家たち-Vol.20 クアドリフォーリオ 春風そよぐオカリナコンサート（3月） 323人 ・カルチャー教室等各種教室（通年） 2,419人																																					
2 主な修繕工事等 ・空調設備更新工事及び工事監理業務 172,012,000円（繰越事業） ・エントランス床タイル補修工事 1,133,000円 ・1階トイレラップ修繕 495,000円 ・受水槽修繕 266,200円																																					
自己評価	B	評価理由	空調設備更新など修繕等適正な維持管理により利用者の安全確保や利便性の向上に努めた。指定管理者の自主事業も平年どおり実施され利用者数も回復しつつある。																																		
方向性	維持																																				
課題と取組み	施設の老朽化により舞台設備など大規模な改修が必要となっている。事業規模を平準化して、計画的に行う。コロナ禍前の令和元年度の7割程度まで回復しているが、今後も指定管理者と協働して適切な運営により住民に安定的かつ継続的に利用してもらうよう努める。																																				

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	公民館係	
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。					
主要施策	文化・芸術活動を通じた交流の推進					
事業No.	32	事業名	学習発表会		決算額	956,106円
事業目的	文化イベントを充実させるとともに、文化交流事業の開催などにより、地域に根ざした個性豊かな文化を創造する。					
取組内容及び成果	<p>1 芸術文化フェスタ</p> <p>(1) 囲碁・将棋大会 囲碁 11月18日(土) 参加者 6人 将棋 11月19日(日) 参加者 14人</p> <p>(2) 展示部門 開催日 11月18日(土)・11月19日(日) 展示数 845点 来場者 1,843人</p> <p>(3) 発表会 開催日 11月19日(日) 21団体 参加者 274人 内容 とべっ子文化の広場教室生等による芸能発表会(一般参加を含む) 教室 大正琴 箏曲 尺八 歌謡 ギター初心者 民舞 一般 ダンス 日舞 和太鼓 砥部小獅子舞 体操</p> <p>2 広田地域芸能発表会 開催日 3月10日(日) 出演・来場者 10グループ・133人 内容 万歳 和太鼓 カラオケ 舞踊 軽音楽 三味線</p>					
自己評価	B	評価理由	芸術文化フェスタでは、発表会や作品展示等において、とべっ子文化の広場教室生を中心として、日頃の練習や教室で学んだ成果を披露する場を提供した。また、各種芸術文化団体の発表や作品展示を通して地域住民へ芸術文化活動に接する機会を提供した。			
方向性	維持					
課題と取組み	参加者・観覧者が減少している。芸術文化フェスタなどへの参加者及び一般観覧者の増加を図るため、魅力的な情報発信を行うとともに体験イベントの開催や会場の賑わいの創出を図る。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係	
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。					
主要施策	文化財や地域伝統文化の保護と継承					
事業No.	33	事業名	文化財保護事業		決算額	1,283,724円
事業目的	文化財保護意識の啓発とともに、潜在文化財の調査研究を行い、必要に応じて文化財として指定する等、適切に文化財等を保護する。					
取組内容及び成果	<p>1 文化財保護審議会</p> <p>町内にある文化財の保存と活用を図るため、文化財保護に関する協議を行ったほか、指定候補物件の調査、研究などを行った。</p> <p>(1) 埋蔵文化財包蔵地の指定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定 坂本窯跡（七折） ・指定に向けた調査 <p>千足遺跡（千足）、守本窯跡（岩谷口）及び下向井窯跡（五本松）</p> <p>(2) 町指定文化財の名称変更 4件</p> <p>2 砥部焼の歴史・文化の調査研究</p> <p>本町の歴史文化の特徴の一つである砥部焼について、愛媛大学と連携するなど関係機関と協力のうえ、古文書の撮影・解読や窯跡調査など調査研究を行った。</p> <p>(1) 坪内家文書の撮影・解読（愛媛大学連携協定事業） 347点（全体約1,600点中960点完了）</p> <p>(2) 砥部焼窯跡調査 約16地点（愛媛大学との共同事業）</p> <p>竹西製陶所跡、野本生星黄陶房跡、上田荒木共同窯跡、藤田窯跡、深田窯跡など</p> <p>3 町誌編さん事業</p> <p>旧砥部町と旧広田村の合併から20年を迎える令和6年12月を目標に、令和3年度から合併後初の町誌編さんに取り組んでいる。令和5年度は、執筆原稿の校正を行うとともに、町誌編さん委員会を3回開催し、原稿への追加事項の提案や本文執筆などを行った。</p>					
自己評価	B	評価理由	窯跡調査の結果に基づき、埋蔵文化財包蔵地の指定を進めた。また、愛媛大学など関係機関との連携により、窯跡調査や坪内家文書の撮影・解読など砥部焼の歴史・文化の調査研究を進めた。			
方向性	維持					
課題と取組み	文化財の指定に向けた議論の加速化が求められている。積極的な文化財、埋蔵文化財包蔵地の指定に向けて基礎的データの整理を行う。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係										
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。														
主要施策	文化財や地域伝統文化の保護と継承														
事業No.	34	事業名	地域伝統文化保存伝承事業	決算額	40,000円										
事業目的	伝統芸能の保存団体等が行う保存伝承活動を支援するとともに、地域の伝統的な祭りや行事の現状及び変容の実態を把握し記録する。														
取組内容及び成果	<p>1 伝統芸能保存伝承事業</p> <p>地域において伝統芸能の保存団体等が行う保存伝承活動に対し、補助金を交付した。</p> <p>(1) 交付団体数 2団体 (岩谷口獅子舞保存会、総津獅子舞保存会) 40,000円</p> <p>※ 北川毛伝統芸能保存会は事業休止</p> <p>【参考】町内伝統芸能団体</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">団体名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩谷口獅子舞保存会 (岩谷口)</td> <td>宮内獅子舞保存会 (宮内)</td> </tr> <tr> <td>総津獅子舞保存会 (総津)</td> <td>本村獅子舞 (高市)</td> </tr> <tr> <td>北川毛伝統芸能保存会 (北川毛)</td> <td>鴨滝獅子舞 (高市)</td> </tr> <tr> <td>満穂万歳保存会 (満穂)</td> <td>高市舎儀利 (高市)</td> </tr> </tbody> </table>					団体名		岩谷口獅子舞保存会 (岩谷口)	宮内獅子舞保存会 (宮内)	総津獅子舞保存会 (総津)	本村獅子舞 (高市)	北川毛伝統芸能保存会 (北川毛)	鴨滝獅子舞 (高市)	満穂万歳保存会 (満穂)	高市舎儀利 (高市)
	団体名														
岩谷口獅子舞保存会 (岩谷口)	宮内獅子舞保存会 (宮内)														
総津獅子舞保存会 (総津)	本村獅子舞 (高市)														
北川毛伝統芸能保存会 (北川毛)	鴨滝獅子舞 (高市)														
満穂万歳保存会 (満穂)	高市舎儀利 (高市)														
<p>2 祭り・行事等調査</p> <p>町誌編さんの一環として、本町に伝承されている伝統的な祭りや地域行事の現状及び変容の実態について調査を行った。</p>															
自己評価	B	評価理由	昨年度に引き続きコロナ禍の影響で地域の祭りや行事が停滞したが、一部団体の活動を支援した。また、地域の祭りや行事の現状を把握するため、地域住民の協力により調査を行い、その成果を記録に残した。												
方向性	維持														
課題と取組み	地域住民の高齢化等によって伝統文化の消滅が進んでいる。適切な支援と正確に記録を保存するため、地域や団体への人的・財政的支援を行うとともに画像や映像記録を保存する。														

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係																
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。																				
主要施策	文化財の活用																				
事業No.	35	事業名	文化財への理解促進		決算額	155,480円															
事業目的	文化財への理解を深め、文化財に親しむ機会を図るとともに、井上正夫の資料収集及び当該資料の公開等により、気軽に学べる機会を提供する。																				
取組内容及び成果	<p>1 歴史講座の開催 砥部の文化や歴史を学んでもらうため、町民を対象とした歴史講座を開催した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日</th> <th>参加者数</th> <th>講師</th> <th>タイトル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11月25日</td> <td>17人</td> <td>太田由美子 森永とめ子</td> <td>砥部の民話～麻生地区～</td> </tr> <tr> <td>12月9日</td> <td>8人</td> <td>十亀幸雄</td> <td>窪田兵右衛門と水争い</td> </tr> <tr> <td>12月23日</td> <td>10人</td> <td>豊島吉博</td> <td>砥部むかしのくらし体験</td> </tr> </tbody> </table>					開催日	参加者数	講師	タイトル	11月25日	17人	太田由美子 森永とめ子	砥部の民話～麻生地区～	12月9日	8人	十亀幸雄	窪田兵右衛門と水争い	12月23日	10人	豊島吉博	砥部むかしのくらし体験
	開催日	参加者数	講師	タイトル																	
11月25日	17人	太田由美子 森永とめ子	砥部の民話～麻生地区～																		
12月9日	8人	十亀幸雄	窪田兵右衛門と水争い																		
12月23日	10人	豊島吉博	砥部むかしのくらし体験																		
<p>2 ふるさと再発見紀行 中央公民館事業として、町内の文化財や史跡などを校區別に学芸員などの説明を行い巡回するふるさと再発見紀行を実施した。 ・ 3コース 44人参加</p> <p>3 文化財展示 年間を通じて、町の名優井上正夫の資料や本町で出土した埋蔵文化財の展示を行った。</p> <p>(1) 井上正夫資料室（町文化会館） ・ 展示（展示替え1回） [展示テーマ] 井上正夫の演劇史 [令和4年12月～令和5年10月] 近年の寄贈・発見作品展 [令和5年10月～展示中]</p> <p>(2) 埋蔵文化財展示室（中央公民館）[通年] ・ 通谷山古墳出土 須恵器（壺、高坏）、鉄器（刀、斧）など</p>																					
自己評価	B	評価理由	通年の文化財展示のほか、歴史講座や文化財の視察など体験的な活動を実施し、歴史や文化に親しむ多様な機会を提供した。																		
方向性	維持																				
課題と取組み	歴史講座は親しみがあって、多くの住民が参加し易い事業展開が求められている。実施後のアンケートを取るなど、個々の事業の趣旨・目的・ターゲット等を明確にして事業の魅力化を図る。																				

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

	所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。			
主要施策	文化財の活用			

事業No.	36	事業名	坂村真民記念館	決算額	20,492,555円
-------	----	-----	---------	-----	-------------

事業目的	砥部町の名誉町民である坂村真民に関する資料の収集や展示を行い、真民詩を全国に発信することにより、真民詩を後世に伝える。
------	---

取 組 内 容 及 び 成 果	1 年間入館者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>有料</th> <th>無料</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5年度</td> <td>3,255人</td> <td>1,687人</td> <td>4,942人</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>3,607人</td> <td>1,991人</td> <td>5,598人</td> </tr> </tbody> </table>			年度	有料	無料	計	5年度	3,255人	1,687人	4,942人	4年度	3,607人	1,991人	5,598人											
	年度	有料	無料	計																							
	5年度	3,255人	1,687人	4,942人																							
	4年度	3,607人	1,991人	5,598人																							
	2 企画展（特別展）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>タイトル</th> <th>内 容</th> <th>期 間</th> <th>入館者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開館11周年記念特別展 「一遍さんと真民さん」</td> <td>一遍さんの生き方に影響を受けて創られた「真民詩」の詩墨作品などの展示</td> <td>令和5年3月4日～ 令和5年7月2日</td> <td>2,476</td> </tr> <tr> <td>夏休み企画展 「あとから来る者のために」</td> <td>小・中・高校生にぜひ読んでもらい、心の支えとなる作品を展示</td> <td>令和5年7月8日～ 令和5年10月1日</td> <td>1,060</td> </tr> <tr> <td>企画展 「ねがい・ねがい」と題する87編の詩から、代表的な作品を展示</td> <td></td> <td>令和5年10月7日～ 令和6年2月25日</td> <td>1,564</td> </tr> <tr> <td>開館12周年記念特別展「真民さんの生き方～できるだけ、うれしいうたをつくらう～」</td> <td>真民の前向きに生きる生き方を詠った詩を集め展示</td> <td>令和6年3月2日～ 令和6年6月30日 ※入館者数は3/31までの集計</td> <td>446</td> </tr> </tbody> </table>			タイトル	内 容	期 間	入館者数	開館11周年記念特別展 「一遍さんと真民さん」	一遍さんの生き方に影響を受けて創られた「真民詩」の詩墨作品などの展示	令和5年3月4日～ 令和5年7月2日	2,476	夏休み企画展 「あとから来る者のために」	小・中・高校生にぜひ読んでもらい、心の支えとなる作品を展示	令和5年7月8日～ 令和5年10月1日	1,060	企画展 「ねがい・ねがい」と題する87編の詩から、代表的な作品を展示		令和5年10月7日～ 令和6年2月25日	1,564	開館12周年記念特別展「真民さんの生き方～できるだけ、うれしいうたをつくらう～」	真民の前向きに生きる生き方を詠った詩を集め展示	令和6年3月2日～ 令和6年6月30日 ※入館者数は3/31までの集計	446			
タイトル	内 容	期 間	入館者数																								
開館11周年記念特別展 「一遍さんと真民さん」	一遍さんの生き方に影響を受けて創られた「真民詩」の詩墨作品などの展示	令和5年3月4日～ 令和5年7月2日	2,476																								
夏休み企画展 「あとから来る者のために」	小・中・高校生にぜひ読んでもらい、心の支えとなる作品を展示	令和5年7月8日～ 令和5年10月1日	1,060																								
企画展 「ねがい・ねがい」と題する87編の詩から、代表的な作品を展示		令和5年10月7日～ 令和6年2月25日	1,564																								
開館12周年記念特別展「真民さんの生き方～できるだけ、うれしいうたをつくらう～」	真民の前向きに生きる生き方を詠った詩を集め展示	令和6年3月2日～ 令和6年6月30日 ※入館者数は3/31までの集計	446																								
3 過去5年間の運営状況	<p>坂村真民記念館運営状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>商品販売収入 (千円)</th> <th>入館料 (千円)</th> <th>入館者数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>1,033</td> <td>1,926</td> <td>6,180</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>523</td> <td>1,253</td> <td>3,499</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>919</td> <td>913</td> <td>3,149</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>1,911</td> <td>1,712</td> <td>5,568</td> </tr> <tr> <td>R5</td> <td>1,401</td> <td>1,538</td> <td>4,942</td> </tr> </tbody> </table>			年度	商品販売収入 (千円)	入館料 (千円)	入館者数 (人)	R1	1,033	1,926	6,180	R2	523	1,253	3,499	R3	919	913	3,149	R4	1,911	1,712	5,568	R5	1,401	1,538	4,942
年度	商品販売収入 (千円)	入館料 (千円)	入館者数 (人)																								
R1	1,033	1,926	6,180																								
R2	523	1,253	3,499																								
R3	919	913	3,149																								
R4	1,911	1,712	5,568																								
R5	1,401	1,538	4,942																								
自己評価	B	評価理由	令和4年度は10周年記念事業の影響で入館者数が一時的に増加したが、令和5年度からは若年層に向けて夏休み企画展を実施するなどして入館者数は回復傾向にある。また、円覚寺横田氏が揮毫した真民詩や、教え子からの手紙など41点の資料の収集をすることができた。																								

方向性	維持
-----	----

課題と取組み	坂村真民のコアなファン層には高い評価を得ているが、新規の来館者や若いファン獲得に向けての取組みが必要である。特別展及び令和5年度から実施している「夏休み企画展」の充実を図り、小・中・高校生など若年層の来館者数の増加を目指す。
--------	--

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係	
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。					
主要施策	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進					
事業No.	37	事業名	社会体育推進事業		決算額	2,586,100円
事業目的	誰もがスポーツに取り組みやすい環境を整備し、住民のスポーツ習慣の定着を図る。					
取組内容及び成果	1 町内各種スポーツ大会（スポーツ協会委託事業）					
	大会名		開催日	5年度	4年度	
	ソフトテニス大会		5月21日	13チーム 105人	11チーム 96人	
	バレーボール大会		6月11日	17チーム 220人	18チーム 214人	
	卓球大会		6月25日	16チーム 226人	13チーム 104人	
	軟式野球大会		7月16日	17チーム 340人	16チーム 323人	
	ソフトボール大会		8月27日	27チーム 440人	中止	
	インディアカ大会		9月10日	12チーム 64人	10チーム 55人	
	レクバレー大会		11月19日	21チーム 177人	中止	
	テニス大会		12月3日	19チーム 140人	18チーム 154人	
	バトミントン大会		1月28日	30チーム 236人	26チーム 202人	
	計			172チーム 1,948人	112チーム 1,148人	
	2 スポーツ少年団交歓大会（スポーツ協会委託事業）					
	大会名		開催日	5年度	4年度	
女子ミニバス大会		8月19日	8チーム 93人	4チーム 46人		
男子ミニバス大会		8月20日	8チーム 114人	8チーム 256人		
ソフトボール大会		11月25日	3チーム 37人	3チーム 39人		
			19チーム 224人	15チーム 341人		
自己評価	B	評価理由	新型コロナウイルスが5類感染症の位置付けになったことにより全ての大会が問題なく実施され、延べ2,172人が大会に参加した。コロナ禍でスポーツ活動を自粛していた住民の活躍の場を提供できた。			
方向性	維持					
課題と取組み	コロナ禍の期間を挟んだため参加者の総人数は前年度より増加しているが、コロナ禍前と比べると参加チーム数の減少等規模としては縮小している。地域によってスポーツへの関心のレベルが大幅に違うため、大会の開催方法の見直しや、町民一人ひとりが取り組みやすい大会の運営をしていく必要がある。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。				
主要施策	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進				
事業No.	38	事業名	レクリエーションスポーツ推進事業	決算額	246,930円
事業目的	住民一人ひとりが自分に合ったレクリエーションスポーツ事業に参加し、住民同士の交流を深める機会を提供する。				
取組内容及び成果	<p>1 クロケット大会 事業費：19,156円 開催日 6月4日（日） 開催場所 陶街道ゆとり公園多目的広場、ひろた町民グラウンド 参加者 15チーム 49人</p> <p>2 スポーツまつりinとべ 天候不良のため中止</p> <p>3 ウォークラリー大会 事業費：31,388円 開催日 3月3日（日） 開催場所 麻生小校区 参加者 13チーム 54人</p> <p>4 ニュースポーツ体験会 開催区 県団地区（ペタンク競技） 広田小学校（キンボール競技）</p>				
自己評価	B	評価理由	実施した2大会では合計103人の参加があった。また地域等からの依頼により、計2回のニュースポーツ体験会を実施し、住民の相互交流の機会を提供した。		
方向性	拡大				
課題と取組み	子どもから高齢者まで参加できるニュースポーツの講習会を、スポーツ推進委員と協力しながらより多くの地域で実施する機会を設けるとともに、スポーツまつりinとべなど大会の実施競技の見直しを行い現行大会への参加者の拡大を図る。				

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

		所管課名	社会教育課	担当係	文化スポーツ係	
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。					
主要施策	地域における指導者の確保及び育成					
事業No.	39	事業名	スポーツ指導者確保及び育成		決算額	4,644,017円
事業目的	スポーツ団体と連携して、スポーツ活動の活性化及びスポーツへの参加人口の拡大を図る。					
取組内容及び成果	<p>1 町スポーツ推進委員 スポーツの実技指導やスポーツ活動の企画・推進等を目的にスポーツ推進委員を委嘱し、町体育事業への協力や、新しいスポーツ種目の検討、スポーツの指導等を行うための研修を行った。 (1) 町スポーツ推進委員 12人 (2) スポーツ推進委員会 7回開催 (3) 各種スポーツ大会運営協力 4回 (4) ニュースポーツ体験会、研修会等参加 3回</p> <p>2 町スポーツ協会（連携事業） 町スポーツ協会と連携し、スポーツ大会の運営等を協会の専門部会など地域の力に任せ実施することで、スポーツ事業の企画・運営等を行う地域スポーツの担い手の確保・育成に努めた。 (1) 町スポーツ協会へ各種スポーツ大会委託(9大会) 2,586,100円</p> <p>3 少年スポーツ団体の育成支援 スポーツ少年団等の活動を支援し、次世代のスポーツ推進の担い手の育成に努めた。 (1) スポーツ少年団等育成事業費補助金(15団体) 750,000円 (2) スポーツ少年団陶街道ゆとり公園武道場利用補助金(4団体) 457,000円</p>					
自己評価	B	評価理由	新型コロナウイルスが5類感染症の位置付けになったことにより、流行前の大会規模に近い形で開催ができるようになった。スポーツ推進委員、町スポーツ協会それぞれの働きにより、多くの住民がスポーツに参加できる機会が生まれ、スポーツ指導者等の担い手育成を図った。			
方向性	維持					
課題と取組み	部活動の地域移行を今後進めていく必要があることを視野に入れ、それに対応できる指導者の確保が求められる。各スポーツ関係者と連携を取りながら進めていく。					

教育委員会における事務の管理・執行状況 一事業別評価表一

所管課名		社会教育課		担当係		文化スポーツ係																																																																															
目標	文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します。																																																																																				
主要施策	社会体育施設等の充実																																																																																				
事業No.	40	事業名	社会体育施設管理			決算額	45,073,687円																																																																														
事業目的	安全で快適にスポーツ活動を行える環境を住民に提供する。																																																																																				
取組内容及び成果	1 社会体育施設の利用状況			2 陶街道ゆとり公園及び田ノ浦町民広場の利用状況																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用者数</th> <th>利用日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砥部中学校 グラウンド</td> <td>3,033人</td> <td>64日</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>6,230人</td> <td>295日</td> </tr> <tr> <td>武道場</td> <td>10,571人</td> <td>359日</td> </tr> <tr> <td>砥部小学校 グラウンド</td> <td>4,517人</td> <td>260日</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>6,689人</td> <td>251日</td> </tr> <tr> <td>宮内小学校 グラウンド</td> <td>6,650人</td> <td>269日</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>13,684人</td> <td>306日</td> </tr> <tr> <td>麻生小学校 グラウンド</td> <td>13,820人</td> <td>338日</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>15,141人</td> <td>316日</td> </tr> <tr> <td>大南町民広場</td> <td>7,240人</td> <td>233日</td> </tr> <tr> <td>ひろた町民グラウンド</td> <td>1,048人</td> <td>54日</td> </tr> <tr> <td>広田小学校 体育館</td> <td>813人</td> <td>30日</td> </tr> <tr> <td>玉谷町民体育館</td> <td>354人</td> <td>63日</td> </tr> <tr> <td>高市町民グラウンド</td> <td>293人</td> <td>4日</td> </tr> <tr> <td>高市町民体育館</td> <td>185人</td> <td>2日</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>90,268人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			施設名	利用者数	利用日数	砥部中学校 グラウンド	3,033人	64日	体育館	6,230人	295日	武道場	10,571人	359日	砥部小学校 グラウンド	4,517人	260日	体育館	6,689人	251日	宮内小学校 グラウンド	6,650人	269日	体育館	13,684人	306日	麻生小学校 グラウンド	13,820人	338日	体育館	15,141人	316日	大南町民広場	7,240人	233日	ひろた町民グラウンド	1,048人	54日	広田小学校 体育館	813人	30日	玉谷町民体育館	354人	63日	高市町民グラウンド	293人	4日	高市町民体育館	185人	2日	合計	90,268人		<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用者数</th> <th>利用日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>多目的広場</td> <td>16,033人</td> <td>268日</td> </tr> <tr> <td>テニスコート</td> <td>18,859人</td> <td>342日</td> </tr> <tr> <td>わんぱく広場</td> <td>23,621人</td> <td>292日</td> </tr> <tr> <td>体育館</td> <td>48,460人</td> <td>346日</td> </tr> <tr> <td>グラウンドゴルフ場</td> <td>3,246人</td> <td>266日</td> </tr> <tr> <td>武道場</td> <td>16,997人</td> <td>344日</td> </tr> <tr> <td>田ノ浦町民広場</td> <td>4,325人</td> <td>102日</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>131,541人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				施設名	利用者数	利用日数	多目的広場	16,033人	268日	テニスコート	18,859人	342日	わんぱく広場	23,621人	292日	体育館	48,460人	346日	グラウンドゴルフ場	3,246人	266日	武道場	16,997人	344日	田ノ浦町民広場	4,325人	102日	合計	131,541人	
	施設名	利用者数	利用日数																																																																																		
	砥部中学校 グラウンド	3,033人	64日																																																																																		
	体育館	6,230人	295日																																																																																		
	武道場	10,571人	359日																																																																																		
	砥部小学校 グラウンド	4,517人	260日																																																																																		
	体育館	6,689人	251日																																																																																		
	宮内小学校 グラウンド	6,650人	269日																																																																																		
	体育館	13,684人	306日																																																																																		
	麻生小学校 グラウンド	13,820人	338日																																																																																		
	体育館	15,141人	316日																																																																																		
	大南町民広場	7,240人	233日																																																																																		
	ひろた町民グラウンド	1,048人	54日																																																																																		
	広田小学校 体育館	813人	30日																																																																																		
	玉谷町民体育館	354人	63日																																																																																		
	高市町民グラウンド	293人	4日																																																																																		
	高市町民体育館	185人	2日																																																																																		
	合計	90,268人																																																																																			
施設名	利用者数	利用日数																																																																																			
多目的広場	16,033人	268日																																																																																			
テニスコート	18,859人	342日																																																																																			
わんぱく広場	23,621人	292日																																																																																			
体育館	48,460人	346日																																																																																			
グラウンドゴルフ場	3,246人	266日																																																																																			
武道場	16,997人	344日																																																																																			
田ノ浦町民広場	4,325人	102日																																																																																			
合計	131,541人																																																																																				
<p>新型コロナウイルスが5類感染症の位置付けになったことにより利用者数は順調な伸びを見せた。社会体育施設は年間90,268人の利用があり、対前年比で18,968人増加した。指定管理施設は、年間131,541人の利用があり、対前年比15,736人増加した。</p>																																																																																					
<p>3 主な修繕工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶街道ゆとり公園テニスコート人工芝張替工事 8,370,000円 ・陶街道ゆとり公園トイレ改修工事 7,133,000円 ・大南町民広場グラウンド改修工事 3,673,000円 																																																																																					
自己評価	B	評価理由	利用者の安全や利便性の確保を念頭に、修繕等適正な維持管理に努めることができている。また、指定管理者の適切な施設運営・管理により、住民に安定的かつ継続的に利用された。																																																																																		
方向性	維持																																																																																				
課題と取組み	施設の老朽化により、引き続きテニスコートや各施設の構造物など改修が必要となってくる。点検と適切な修繕等により施設の長寿命化を図るとともに、事業規模を平準化して、計画的に行い適正な維持管理に努める。																																																																																				

令和6年度【令和5年度事業】砥部町教育委員会点検評価報告書

－外部評価意見－

令和6年8月20日

評価者：古田 章

◆未来を担う子どもたちが、たくましく健やかに育まれるまちを実現します。

主要施策	子育て支援サービス等の充実
------	---------------

【意見】

○幼児教育推進事業 … 幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎となる重要な時期であり、質の高い幼児教育が行われることはとても大切である。外部講師を効果的に活用したり、家庭や地域との連携を工夫したりして様々な体験が実現されたことは、幼児の健やかな成長に確実に繋がっている。また、避難訓練や職員研修の充実など、防災・安全教育への取組が強化されており、今後も継続していただきたい。

主要施策	豊かな心を育む教育の推進
------	--------------

【意見】

○就学援助事業 … 入学説明会等の機会をとらえて全保護者に事業の周知を図り、就学援助を必要とする児童生徒の保護者が円滑に手続きを行えることに加え、年度の途中にも随時ケースに対応できていることは重要である。今後も効果的な支援が行われるよう取り組んでいただきたい。

○奨学資金貸与事業 … 経済的な理由による進学格差を解消し、生徒の誰もが夢を断念することなく努力できるのは、人づくりの上でも大切なことである。今後も基金が適正に管理運用され、この事業をとおして自己実現を目指す若者の支援を継続していただきたい。

○特別支援教育推進事業 … 特別支援教育の推進においては、各関係機関が連携して特別な支援が必要な児童生徒と保護者に寄り添う取組が実践されている。また、学校生活支援員の確保と適切な配置により、対象の児童生徒の学校生活の充実が図られている。今後もすべての子どもが共に学び合うインクルーシブ教育とも関連付け、個に応じた適切な支援に取り組んでいただきたい。

○地域の特性を生かす教育推進事業 … 各学校ではそれぞれの地域における自然や歴史、伝統・文化の特性を生かすとともに地域の人材を活用し、特色ある学校づくりが進められており、教育活動の充実ぶりが見て取れる。今後も地域資源を活用した教育活動が実現するよう

交付金の継続をお願いしたい。

- 学校給食運営事業 … 適切な施設管理と地産地消の取組などにより、安全で安心な給食が提供されている。また、物価高騰が家計に影響を及ぼす中、学校給食費保護者負担軽減支援事業を拡充するなど保護者の負担軽減が図られた。今後も健全な給食運営で、栄養バランスの取れた安全・安心な給食の提供を継続していただきたい。
- 校務支援・業務改善事業 … 教職員の長時間勤務の改善は、喫緊の課題である。教職員が持つ校務の支援や業務の軽減を図ることは、教職員が児童生徒に向き合う時間を確保するために必須といえる。スクール・サポート・スタッフの配置においては、前年度よりも拡充して町内全小中学校に配置されるなど大きく前進した。今後も業務の効率化などを進め、支援の継続をしていただきたい。
- いじめ・不登校等対策事業 … いじめ・不登校等に関する施策は、学校をはじめとする関係機関が十分に連携して進めることが大切である。スクールソーシャルワーカーの配置日数の増加など、専門家による相談活動や関係機関をつなぐ支援が行われていることは重要である。また、学校にサポートルームを開設するとともに居場所づくりに取り組むなど支援体制の充実が図られており、今後も多様な対応と支援につながる取組を継続していただきたい。
- 山村留学センター運営事業 … 小学生が豊かな自然環境の中で伸び伸びと生活し、体験活動や集団生活を通じて優しさとたくましさを育むこの事業は、全国的にも貴重なものである。過疎化により児童数が減少している広田小学校では、留学児童とともに学校生活を送ることで多様な人間関係や文化を育むことができ、小規模校のよさを生かしながら心豊かでたくましい子どもの育成が実践されている。今後も事業を継続していただきたい。

主要施策	たくましく生きる子どもの育成
------	----------------

【意見】

- 教育活動支援事業 … 児童生徒の集団学習活動や生徒の部活動における大会参加の状況から十分な支援の成果が見られる。今後も保護者の経済的負担を軽減するとともに、児童生徒が参加しやすい環境の整備に向け適切な支援を継続していただきたい。
- 保健対策事業 … 学校医・学校薬剤師を確保し、健康診断を適切に実施して児童生徒が心身ともに健康に学校生活を送ること、さらに安全な行事の実施や小児生活習慣病など病気の早期発見や予防につなげること等、成果を上げている。また、家庭では困難な性教育においては、県立医療技術大学との連携による全小中学校での思春期教室開催など、本町ならではの取組が行われている。子どもたちの健全な育成のため、継続して取り組んでいただきたい。
- 運動・体力向上推進事業 … 各学校での体力向上推進計画に基づく体力づくり活動のほか、小学校では水泳大会・陸上大会の練習をとおして体力の向上に取り組み、えひめ子どもスポ

ーツ IT スタジアムを含めて前年度以上の上位入賞があった。子どもたちが練習に励み、最後までやり抜く感動を味わったことは大変意義深い。また、中学校における部活動では、持続可能な運動部活動の方針に基づく活動が実践され、バランスの取れた活動をとおして生徒のたくましい心と体が育っている。今後も家庭での体力づくりの啓発を含め、取組を継続していただきたい。

○キャリア教育推進事業 … 中学2年生を対象にしたえひめジョブチャレンジU-15事業は、一人一人が生涯を考え、自己と働くことを結び付けながら必要な能力や態度を身に付けていくことを促すキャリア教育の実践として大きな成果を上げている。本町での取組では関係者が新規受け入れ事業所の開拓に苦心した結果、前年度よりもさらに協力事業所が増えており、生徒の貴重な体験が実現した。今後も生徒が地元で勤労観を育み、役に立つ喜びを味わうための5日間になるよう、地域の事業所への理解促進に取り組んでいただきたい。

○外国語教育推進事業 … 3人の外国語指導助手を配置し、町内の保育所・幼稚園や小・中学校への派遣をとおして、外国語活動や英語教育・国際理解教育がより充実した。子どもたちは世界や外国語への興味関心が高まるなど成果を上げている。今後は、中学生の英語検定へのチャレンジに対する支援の充実を含め、取組を継続していただきたい。

○部活動地域移行事業 … 生徒数の減少による部活動メニューの縮小や指導する教職員負担軽減などを背景に国が、地域部活動を推進している中、本町においては砥部町地域部活動検討委員会が設置され、令和7年度末までの方針が出されるなど着実に進められている。一般的に、生徒の選択肢の広がりや専門的な指導の充実などのメリットと、指導者や受け皿の確保などの課題があるとされるが、本町の社会資源を生かした地域部活動の実現を目指していただきたい。

主要施策	教育力の向上
------	--------

【意見】

○教職員研修促進事業 … 各学校が校内研修会の充実に努め、教職員の資質・能力の向上が図られている。加えて、町教育委員会の主催により、多様な登校の在り方など最新の不登校への対応や支援について見識を深める取組がなされた。今後も研修機会の充実を継続していただきたい。

○学力向上推進事業 … 学力向上推進委員会の取組として、実践活動部会を中心に授業公開を積極的に進め授業力の向上を目指すなど、効果的な取組が行われている。今後も、砥部町学力向上推進委員会の取組を継続することが大切と考える。

○情報教育推進事業 … ICT 支援員を配置し、タブレット端末を活用した授業の支援や教職員の研修に成果を上げている。また、小学校では英語科・算数科・社会科、中学校では英語

科と数学科においてデジタル教科書が導入されており、多様で効果的な学びへの活用が期待できる。今後も ICT 支援員を活用して情報教育の推進を継続していただきたい。

主要施策	教育環境の整備
------	---------

【意見】

- 学校間連携推進事業 … 校長会や行事打合せ会などを通じ、町内の各学校と教育委員会が情報を共有し連携を密にすることで、本町の学校教育の基本方針に基づいた学校経営が円滑に行われている。また、共同学校事務室の適切な運営により、組織的で的確な事務処理が実現している。今後もこの取組を継続していただきたい。
- 学校施設整備・維持管理 … 子どもたちが伸びやかに成長する場として、常に安全で安心な環境づくりと学校施設の整備・維持は設置者の責務であるが、きめ細かく現状を把握し、計画的に整備が進められている。今後も必要な改修等、迅速な対応と計画的な整備の実現に努めていただきたい。
- 学校安全対策事業 … 町教育委員会、学校、関係諸機関が連携して、砥部町通学路安全対策プログラムが実践され、通学路の危険個所の対策を令和6年度までに完了させる取組がなされた。今後も青色防犯パトロールをはじめとする児童生徒の見守り活動を含め、子どもたちの安全な通学の実現のため継続して取り組んでいただきたい。

◆身近な学びと交流により豊かな心が育まれるまちを実現します。

主要施策	青少年の健全育成
------	----------

【意見】

- 青少年健全育成事業 … 青少年育成センターによる相談活動や見守り・非行防止の活動、とべっ子志縁倶楽部による放課後学習支援や登下校の見守り活動等、関係者の方々の日々の献身的な取組が子どもたちの健全育成を支えており、誰もが深く感謝するところである。また、とべの里冒険クラブではボランティアリーダーの大学生が主体となって運営するなど、いい形で事業が発展しており今後の継続が望まれる。新たな取組としてのとべ焼博士事業は、本町ならではの取組であり、今後の成果を楽しみにしたい。

主要施策	国際交流の推進
------	---------

【意見】

- 国際交流事業 … ショパンビレッジフェスティバル in 砥部町においては、世界的なピアニストによるピアノ演奏などに前年度以上の人数の町民が参加し、本物の音楽に触れる貴重な機会となった。今後もこの事業を継続し、国際交流の機会や一流の芸術・文化に触れる場を提供することで、町民の心を豊かにしていただきたい。

主要施策	ニーズに合わせた学習機会の充実
------	-----------------

【意見】

- 公民館活動事業 … 公民館活動は地域住民のコミュニティや地域の活性化に大変重要な役割がある。中央公民館やひろた交流センターの事業では、新規事業のほかこれまでの取組に工夫や改善を加えるなどして魅力ある事業を目指して成果を上げている。今後も、幅広い年齢層のニーズに対応した工夫など、住民とともに楽しく取り組んでいただきたい。

主要施策	社会教育施設の充実
------	-----------

【意見】

- 公民館施設管理 … 中央公民館体育館に愛媛県施設予約システムを導入するなど、利便性の向上が図られた。公民館等の社会教育施設は、町民の生涯学習の場として積極的に活用されることが大切であり、公民館活動事業の充実と併せて町民への利用促進に取り組んでいただきたい。
- 読書活動推進事業 … 令和4年度中から運用を開始した電子図書館は、インターネット環境の進展した社会において、時間や場所を気にせず利用できることなどを背景に利用実績が大幅に増加している。今後も利用者のニーズの把握や内容の充実、利便性の向上に取り組んでいただきたい。

主要施策	コミュニティ・スクール導入に向けた取組
------	---------------------

【意見】

- コミュニティ・スクール導入事業 … かねてより生涯教育の観点や生涯学習社会の推進において、学校教育と社会教育の連携・融合をテーマに様々な実践があり、地域と学校の垣根を超えた教育活動や学校経営が浸透した。学校運営協議会を設置して学校と地域が一体となって特色ある学校づくりを目指すコミュニティ・スクールは、「地域とともにあるみんなの学校」として大きな存在意義がある。校長の経営ビジョンを地域住民が共有し、一体となって子どもを育てることは、学校を核とする地域づくりにもつながるであろう。令和7年度の運

用開始を目指し、地域への丁寧なはたらきかけを行い推進していただきたい。

主要施策	人権についての教育・啓発の推進
------	-----------------

【意見】

- 人権教育・人権対策推進事業 … 誇りある地域、住みたいと思う魅力的なまちづくりを進める本町において、誰もが差別に気付き、課題意識を持って差別の解消に取り組む地域社会の実現を目指す本事業は重要である。人権教育基礎講座や人権教育巡回学習会が様々な人権課題に着目し、学習内容等を工夫して実施されており多くの参加者の心に響いたものと思われる。今後もこの実践を積み重ねていただきたい。

主要施策	人権擁護の推進と相談体制の充実
------	-----------------

【意見】

- 人権擁護推進事業 … SNS での誹謗中傷をはじめ、インターネット上における人権侵害が大きな社会問題となるなど、住民の身近なところで様々な人権問題が存在している。人権擁護委員により、相談体制の充実が図られたり学校と連携した人権の花運動が実践されたりと、住民の人権を守るとともに互いに人権を尊重する意識の啓発につながっている。今後も継続していただきたい。

主要施策	男女共同参画の推進
------	-----------

【意見】

- 男女平等教育の推進 … 各社会教育関係団体等に呼びかけて人権教育基礎講座に位置付けた研修会を実施するなど、男女共同参画社会の推進に工夫して取り組んでいる。また、女性団体育成事業では、ボランティア活動や研修機会の提供などをおして女性団体の活動の活性化が図られた。今後もさらに女性団体の育成事業を継続し、主体的な活動につなげていただきたい。

◆文化・スポーツ活動により感性が育まれるまちを実現します

主要施策	文化・芸術活動への参加促進
------	---------------

【意見】

○文化会館管理運営 … 砥部町文化会館は、周辺市町を含めて貴重な施設であり評価も高い。適切に維持管理が行われ、利用者の安全や利便性の向上が図られており、充実した活用につながっている。町民の潤いのある生活の拠点として、今後も適切な維持・管理を継続していただきたい。

主要施策	文化・芸術活動を通じた交流の推進
------	------------------

【意見】

○学習発表会 … この事業は生涯学習の発表の場であり、他の活動団体や学習者の交流の場としても大変重要な機会になっている。今後も幅広い年齢層の参加を目指すなど、楽しく有意義なものになるよう工夫し、継続して取り組んでいただきたい。

主要施策	文化財や地域伝統文化の保護と継承
------	------------------

【意見】

○文化財保護事業 … 文化財保護審議会による指定候補物件の調査・研究では、千足遺跡、守本窯跡、下向井窯跡が指定に向けて調査された。また、愛媛大学との連携により本町の誇りでもある砥部焼の歴史・文化の調査研究が継続して進められた。さらには、町村合併後初の町誌の編さんにも取り組むなど成果を上げている。今後もふるさと砥部町の貴重な文化財の保存や歴史と文化の理解・継承に努めていただきたい。

○地域伝統文化保存伝承事業 … 活動団体への補助金交付を継続的に行って支援するだけでなく、高齢化等により伝統文化の継承が困難になる中、伝統芸能や祭り・地域行事の調査と記録に取り組んでいることは重要なことである。今後も調査・記録作成を進め、関係団体等への人的・財政的支援を継続していただきたい。

主要施策	文化財の活用
------	--------

【意見】

○文化財への理解促進 … 中央公民館事業として町内の文化財や史跡をめぐり、学芸員等の説明を聞くことができる「ふるさと再発見紀行」は、文字通りふるさとを再発見する機会となり成果を上げている。今後も楽しく文化財に触れることのできる学習機会の提供を継続していただきたい。

○坂村真民記念館 … 今年度は若年層に向けた企画展を開催するなど新たな取組や、資料の

収集を行うなど、今後の運営に期待が高まる。今後も幅広い層に向け、坂村真民記念館を真ん中にして広く情報発信ができるよう継続して取り組んでいただきたい。

主要施策	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
------	----------------------

【意見】

- 社会体育推進事業 … 前年度までは新型コロナウイルス感染症が事業の推進に影響を及ぼしていたが、今年度はすべての大会が実施され、町民がスポーツをとおして体力づくり・健康づくりに親しみ、交流をすることができた。今後もニュースポーツの普及をはじめ、町民の関心が高まる内容の工夫や啓発に努め継続していただきたい。
- レクリエーションスポーツ推進事業 … スポーツ系レクリエーションは、参加しやすく参加者同士のよい関係・つながりができること、協調性が高まりチーム力が上がること、目標に向かって一致団結することで結束力が生まれること、などの効果があるとされる。また、勝敗にこだわらず気軽に楽しみながら心地よい汗を流すことは、幅広い層の健康づくりにつながる。「スポーツまつり in とべ」は天候の影響で実施できなかったが、今後も競技種目の見直し等を進めることでより多くの町民が笑顔で参加できることが期待できる。

主要施策	地域における指導者の確保及び育成
------	------------------

【意見】

- スポーツ指導者確保及び育成 … 12人のスポーツ推進委員や町スポーツ協会関係者が主体となって大会等の運営に携わる機会を創出しており、それが地域スポーツの担い手や指導者としての人材育成につながっている。地域部活動の推進においても地域の人材育成が求められており、今後も指導者の発掘や育成を継続していただきたい。

主要施策	社会体育施設等の充実
------	------------

【意見】

- 社会体育施設管理 … 社会体育施設や公園は、町民が安全で快適に活動ができる場として大きな役割を果たしており、利用者数は前年度に比べ大幅に増加している。今後も老朽化に対応し、町民が安心して利用できるよう計画的な整備と適切な維持・管理に努めていただきたい。